

# 教 育 要 覧

平成 2 7 年度

大竹市教育委員会

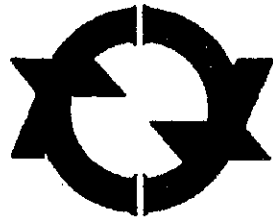


---

# 目 次

---

I	大竹市の概況	1
II	教育行財政	
1	大竹市教育行政の施策要綱	3
2	教育行政	4
3	教育財政	15
III	学校教育	
1	学校教育の目標	19
2	小・中学校等の現況	20
IV	生涯学習	
1	平成26年度生涯学習事業	32
2	社会教育施設	37
3	スポーツ施設	47
4	社会教育関係委員	51
5	社会教育・社会体育施設等一覧	54
6	その他資料	56



## 大竹市民憲章

わたくしたち大竹市民は、古い伝統と美しい自然に恵まれた郷土に誇りと自覚をもち、豊かで住みよい理想のまちをきずくため、この憲章を定めます。

- 1 自然を愛し、環境をととのえ、住みよいまちをつくりましょう。
- 1 スポーツに親しみ、健康で活気にあふれるまちをつくりましょう。
- 1 働くことに誇りと喜びをもち、若竹のように伸びゆくまちをつくりましょう。
- 1 みんなの幸せを願い、力を合わせて楽しく、明るいまちをつくりましょう。
- 1 教養を深め、文化のかおり高い、平和なまちをつくりましょう。

(昭和49年5月15日制定)

# I 大竹市の概況



## 大竹市の沿革

大竹市は、広島県の西部県境に位置する臨海工業都市です。

市域はその昔、<sup>おかのま</sup>遠管郷と呼ばれ、古代山陽道の要路にあたっており、遠管駅がおかれておりました。中世になると、厳島社領や毛利氏の領地となり、関ヶ原の合戦以後は、この地を福島氏が治め、小方に亀居城を築いて防長二国を支配する毛利氏に備えました。その後、元和5年の福島氏の改易によって浅野氏がこれに代わり、その家老である上田氏の領地にあてられました。

幕末の動乱期には、長州之役の戦禍を受け、沿岸部のほとんどの民家が灰じんに帰しております。明治維新以降、国家の治安が確立され、明治、大正、昭和と幾多の変遷をへて、昭和29年9月、大竹町、小方町、玖波町、栗谷村、松ヶ原地区（友和村の一部）が合併し、大竹市が発足し、今日に至っています。

市域の産業は、明治には和紙生産、鯛網漁業を中核として発展しました。特に和紙は、木野川（小瀬川）の良水に恵まれ、全国に名声を高めました。

大正5年、工業都市へのさきがけとして大倉組山陽製鉄所が現在の御幸町に建設されましたが、大正11年には軍縮の余波を受けて閉鎖されております。

昭和に入り、8年には三菱レイヨンの前身である新興人絹がこの地に進出しました。一方、新開地に海兵団、潜水学校などが設けられ、第2次世界大戦中は、海軍の重要な軍事基地としての役割を果たしました。

昭和20年の終戦と同時に軍事的要素は一掃され、日本経済の復興の波にのって平和産業としての重化学工業の誘致気運が高まりました。

昭和29年9月、市制が施行されてから、市の積極的な工業都市建設計画により企業誘致が行われ、化学繊維・パルプ・石油化学工業を中心とする大企業5社と、既存の大企業2社を含める7大企業が沿岸部に立ち並び、瀬戸内海工業地帯の一角として飛躍的な発展をとげました。

近年は、国際化・高度情報化の進展や少子・高齢社会の到来、地球規模での環境問題への対応などの社会環境の変化や、多様な市民ニーズに応えるため、平成23年3月に第五次大竹市総合計画（わがまちプラン）を策定しました。この地に今まで培われてきた多様な産業、豊かな文化、美しい自然など多彩な地域資源を生かし、「大竹を愛する人づくり」「生活基盤が整ったまちづくり」「安全なまちづくり」「安心できるまちづくり」「心にゆとりを感じるまちづくり」「行政・社会の仕組みづくり」を大きな柱に掲げ、まちづくりを進めています。

また本年度は、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、雇用創出や子育て支援などの施策を総合的かつ計画的に実施してまいります。「働く場所がある」という本市の強みを十分に活かし、子育てや教育、安心・安全性などの向上を図ることで、子育て世代・現役世代の方々が「大竹に住んでみたい」「住んで良かった」と感じる事ができる「まちづくり」を進めていきます。

土地等

市制施行 昭和29年9月1日

面積 78.66km<sup>2</sup>

地区別面積 (単位:km <sup>2</sup> )	小方	栗谷	玖波	大竹	松ヶ原
	29.09	28.35	12.83	7.68	0.71

地目別面積 (単位:km <sup>2</sup> )	田	畑	宅地	山林	雑種地	原野	その他
	1.33	1.73	6.01	21.26	1.45	0.66	46.22

主な山岳 三倉岳〔標高701.8m〕  
 主な河川 小瀬川〔延長58.5km〕、玖島川〔延長24.7km〕  
 主な島 阿多田島(猪子島を含む)〔面積2.53km<sup>2</sup>〕  
 市役所の位置 北緯:34度14分05秒, 東経:132度13分29秒  
 市の木・市の花 市の木:クロガネモチ, 市の花:サツキ  
 (昭和49年5月15日制定)

人口

地区別人口(平成27年4月1日現在)

区分	世帯数	人口(単位:人)		
		総数	男	女
総数	12,863	28,109	13,640	14,469
大竹地区	6,545	14,355	6,996	7,359
小方地区	3,896	8,767	4,319	4,448
玖波地区	2,017	4,196	1,939	2,257
栗谷地区	263	513	252	261
松ヶ原地区	142	278	134	144

年齢別人口(平成27年4月1日現在)

区分	総数 [割合]	男	女
年少人口(0歳~14歳)	3,121人 [11.1%]	1,621人	1,500人
生産年齢人口(15歳~64歳)	15,950人 [56.7%]	8,173人	7,777人
老年人口(65歳以上)	9,038人 [32.2%]	3,846人	5,192人

市の自慢

下水道普及率……人口普及率94.0%は県内14市で1位, 県内では3位  
 (平成25年度末)

製造品出荷額等……化学工業は県内で1位(平成24年)

弥栄ダム……堤高120m, 有効貯水容量1億600万m<sup>3</sup>は中国地方で2位

岩国大竹コンビナート……日本初の総合石油コンビナート

海面養殖業……養殖魚収穫量(ぶり類・まだい)は県内で1位(平成23年)



## II 教育行財政



# 教 育 行 財 政

## 1. 大竹市教育行政の施策要綱

現代社会は、科学技術の急激な発展と情報化や国際化、高齢化の進展等著しく変化しています。市民生活の向上と大竹市の発展を図るには、このような社会情勢の変化に積極的に対応し、地域の実態をふまえた調和のある活力に満ちた社会の構築を目指していくことが強く求められます。

さらに、21世紀を担う青少年が心豊かで責任感にあふれ、主体的に生きてゆける力をつけるよう家庭・学校・地域が一体となって教育を押し進めることが重要です。

また、市民すべてが生涯にわたり自己を高めるための学習に自ら取り組み、地域社会の形成者としての自負と連帯を高めることが大切です。

このような認識のもとに教育委員会は教育の基本目標として

- ・社会の進展に寄与しうる英知と創造性に富む市民の育成
- ・真理と正義を愛し、基本的人権と社会の連帯を重んずる市民の育成
- ・心身ともに健やかで強い意欲に満ちた実践力のある市民の育成
- ・人類の平和と繁栄に寄与しうる国際性豊かな市民の育成

をかねて、生涯学習の観点から教育行政を総合的に推進してまいります。

教育委員会はこの基本目標達成のため「生涯学習都市宣言」市議会決議を受けて、広く一般市民を対象に生涯学習の意義や必要性に理解を深めてもらい学校教育、社会教育の各領域の協力のもとに県教育委員会、その他教育機関・団体等との密接な連携を保ちながら、積極的かつ着実に施策の推進に努めます。

## 2. 教育行政

### (1) 教育委員会

平成27年8月1日現在

職名	氏名	就任年月日	任期
教育長	大岩 泰 <sup>ゆたか</sup>	平成27年 4月 1日	平成27年4月1日 ） 平成30年3月31日
委員 (教育長 職務代理者)	畠中 透 <sup>とほろ</sup>	平成24年 3月15日	平成24年3月15日 ） 平成28年3月14日
委員	新矢 佳弘 <sup>ひろ</sup>	平成25年10月1日	平成25年10月1日 ） 平成29年9月30日
委員	中田 美穂 <sup>ほ</sup>	平成26年 4月 1日	平成26年4月1日 ） 平成28年 9月29日
委員	川口 洋子 <sup>よしこ</sup>	平成27年 4月 1日	平成27年 4月 1日 ） 平成28年12月10日

◆第五次大竹市総合計画(わがまちプラン)のイメージキャラクター◆



ガッツくん

## (2) 歴代教育委員長

平成27年8月1日現在

職 名	期 間
長 門 春 一	昭和29年 9月 1日 ~ 昭和30年 8月31日
長 谷 正 男	昭和30年 9月 5日 ~ 昭和31年 9月30日
田 淵 源太郎	昭和31年10月 1日 ~ 昭和32年 9月30日
柴 田 佳 能	昭和32年10月 1日 ~ 昭和33年 9月30日
大 内 領 一	昭和33年10月 1日 ~ 昭和34年 9月30日
烏 田 義 通	昭和34年10月31日 ~ 昭和36年 9月30日
柴 田 佳 能	昭和36年10月 2日 ~ 昭和37年10月 1日
烏 田 義 通	昭和37年10月 8日 ~ 昭和39年 9月30日
三 上 源 一	昭和39年10月 1日 ~ 昭和42年10月15日
豊 田 伊久雄	昭和42年10月16日 ~ 平成 2年 1月22日
沖 本 和 夫	平成 2年 3月14日 ~ 平成 9年 3月27日
和 田 世 弘	平成 9年 3月28日 ~ 平成17年 9月29日
烏 田 克 茂	平成17年 9月30日 ~ 平成20年 9月29日
和 田 世 弘	平成20年 9月30日 ~ 平成24年 9月29日
烏 田 克 茂	平成24年 9月30日 ~ 平成25年 9月29日
畠 中 透	平成25年10月 1日 ~ 平成27年 3月31日
※地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正により、平成27年4月1日より教育委員長を置いていません。	

(3) 歴代教育長

平成27年8月1日現在

職 名	期 間
濱 谷 清 三	昭和29年 9月 1日 ~ 昭和39年 6月19日
小 松 稔	昭和39年 7月13日 ~ 昭和45年10月13日
森 岡 敬 三	昭和45年10月14日 ~ 昭和49年10月13日
田 中 敏 美	昭和49年10月14日 ~ 昭和53年10月13日
豊 島 岩 雄	昭和53年10月28日 ~ 昭和57年10月27日
佐 伯 重 郎	昭和57年10月28日 ~ 昭和61年10月27日
田 中 弘 明	昭和61年10月30日 ~ 平成 2年10月29日
塩 田 昭 男	平成 2年11月 1日 ~ 平成 6年10月29日
北 林 克 彦	平成 6年11月 1日 ~ 平成10年10月31日
三 浦 忠 一	平成10年11月16日 ~ 平成14年 7月31日
池 本 光 博	平成15年 4月 1日 ~ 平成16年 8月20日
長 門 俊 雄	平成16年 9月15日 ~ 平成18年 6月29日
西 尾 裕 次	平成18年10月 2日 ~ 平成25年 3月31日
大 石 泰	平成25年 4月 2日 ~

(4) 教育委員会の沿革概要

年月日	概要
昭和29年 9月 1日	大竹市教育委員会発足 大竹市教育委員会機構 総務課——庶務係・財務係 学事課——学事係・指導係 社会教育課——文化係・体育係
31. 5. 1	教育委員会事務局機構改革 庶務課——庶務係・財務係 教務課——学校教育係・社会教育係
34. 1. 17	玖波公民館落成
35. 3. 31	栗谷小学校校舎完成
37. 9. 27	大竹中学校移転改築完成
38. 6. 30	市民プール完成
38. 11. 1	文化会館落成 文化会館機構 文化会館——庶務係・奉仕係
40. 8. 1	教育委員会事務局機構改革 総務学事課——庶務係・学校教育係・保健体育係 社会教育課——社会教育係
40. 9. 11	大竹市体育館完成
40. 10. 1	文化会館機構一部改革 文化会館——管理係
41. 11.	木野小学校校舎落成
44. 4. 1	教育委員会事務局機構改革 総務課——庶務係 学校教育課——学校教育係・学校保健係 社会教育課——社会教育係・社会体育係
45. 3. 31	栗谷小学校谷尻分校及び広原分校廃校
45. 4. 1	穂仁原小学校飯谷分校設置
45. 6. 1	広原地区スクールバス運行開始
46. 4. 1	谷尻地区スクールバス運行開始
46. 8. 27	阿多田小学校騒音防止対策校舎完成
48. 3. 28	大竹小学校騒音防止対策校舎完成(5ヵ年計画)

年 月 日	概 要
昭和48年 4月 1日	教育委員会事務局機構改革 総務学事課——庶務係・学校保健係 学校教育課——学校教育係 社会教育課——社会教育係・社会体育係・社会体育施設係
49. 9. 12	玖波公民館完成
51. 3. 25	小方小学校騒音防止対策校舎完成
52. 3. 31	小方中学校騒音防止対策校舎完成
53. 3. 31	栗谷中学校校舎完成 玖波小学校騒音防止対策校舎完成
53. 5. 1	教育委員会事務局機構一部改革 社会教育課に青少年教育係を設ける
54. 10. 1	教育委員会事務局機構改革 総 務 課——担当制 学校教育課——学校教育係・保健体育係 社会教育課——社会教育係・青少年教育係・社会体育係
55. 4. 1	市役所移転改築に伴い教育委員会事務局移転 総合体育館落成
56. 3. 26	栗谷小学校谷和分校廃校
56. 4. 6	谷和地区スクールバス運行開始
56. 4. 15	栄公民館落成
56. 5. 11	総合市民会館オープン
57. 3. 25	玖波中学校新築完成移転
57. 3. 31	穂仁原小学校完成
57. 4. 23	小方公民館・勤労者体育センター落成
58. 3. 31	栗谷小学校移転新築完成
60. 4. 1	穂仁原小学校飯谷分校廃校 飯谷川手地区スクールバス運行開始 教育委員会事務局機構改革 総 務 課——庶務係・青少年対策係 学校教育課——担当制 社会教育課——社会教育係・社会体育係 総合市民会館の管理を嘱託制度に改革
61. 3. 27	松ヶ原小学校校舎及び体育館移転新築完成
62. 3. 27	小方中学校屋内運動場改築完成
62. 4. 1	社会教育課に図書館準備室設置



年月日	概要
昭和63. 3. 10	大竹市自然の家「やさか」完成
平成元. 4. 1	大竹市立図書館オープン
2. 3. 26	玖波小学校校舎大規模改造完成
2. 4. 1	大竹会館講堂（アゼリアホール）オープン
	教育委員会事務局機構改革 総務課——庶務係 学校教育課——学事指導係・健康教育係 生涯学習課——社会教育係・青少年教育係
	大竹市文化振興事業団発足
2. 7. 25~7. 30	第1回青少年海外派遣（中学生・大韓民国）
2. 9. 28	阿多田小学校屋内運動場完成
3. 5. 20	木野小学校屋内運動場改築完成
3. 5. 31	大竹中学校屋内運動場改築完成
3. 7. 30~8. 3	第2回青少年海外派遣（高校生・中華人民共和国）
4. 2. 24	小方中学校校舎大規模改造完成
4. 3. 24	玖波中学校柔剣道場完成
4. 4. 1	小方中学校パソコン教室設置
	大竹中学校パソコン教室設置
4. 7. 27~8. 1	第3回青少年海外派遣（中学生・大韓民国）
4. 8. 4~8. 9	中学生交歓交流開始（沖縄県豊見城村と大竹市）
5. 3. 31	小方小学校給食食器洗浄システム導入
5. 4. 1	玖波中学校パソコン教室設置
6. 3. 15	栗谷中学校パソコン教室設置
	栗谷中学校屋内運動場等改築完成
6. 8. 4~8. 10	第4回青少年海外派遣（中学生・ハワイ州ヒロ市外）
7. 3. 15	大竹小学校屋内運動場改築完成
8. 7. 8	大竹市海の家あたたかオープン
8. 7. 26~7. 31	第5回青少年海外派遣（中学生・シンガポール外）
9. 3. 25	大竹市生涯学習都市宣言
9. 4. 1	栗谷・松ヶ原・木野・穂仁原・阿多田小学校パソコン教室設置
10. 4. 1	大竹小・小方小・玖波小学校パソコン教室設置
11. 8. 30	阿多田小学校防音改良工事
11. 10. 17	第15回国民文化祭ひろしま2000プレ国民文化祭 ・第9回県民文化祭文芸祭（川柳大会）

年月日	概要
11.11.7	第15回国民文化祭ひろしま2000プレ国民文化祭 ・ジャズダンスフェスティバル
12.11.4	第15回国民文化祭ひろしま2000 文芸祭 川柳大会
12.11.5	〃 ジャズダンスフェスティバル
13.2.12	Jr.サイエンスフェスタ2001おおたけ
13.4.1	教育委員会事務局 機構改革 総務学事課——教育総務係・学校教育係 生涯学習課——社会教育係・青少年教育係
13.5~14.8	IT学習講習実施
14.6~	大竹市民スポーツ広場オープン
15.4.1	教育委員会事務局 機構改革 総務学事課——教育総務係・学校教育係・こども相談室 生涯学習課——社会教育係・スポーツ振興係・施設管理係
15.6.21	大竹中学校校舎改築着工
16.4.1	教育委員会事務局 機構改革 生涯学習課——社会教育係・施設スポーツ係・青少年支援係
16.7.12	大竹中学校校舎第1期分完成・引渡
17.2.28	大竹中学校校舎改築完成
17.4.1	教育委員会事務局 機構改革 生涯学習課——社会教育係・施設スポーツ係 大竹市立小中学校事務センター発足
17.9.1	市内小学校パソコン教室整備
17.11.22	「おおたけ少人数教育特区」認定
18.4.1	学校選択制導入 少人数学級推進事業導入
18.8.2	大竹中学校校舎(社)文教施設協会「うるおいのある教育施設」部門入賞
18.8.21~8.27	キャリア教育実践プロジェクト開始 大竹市キャリア・スタート・ウィーク実施
19.4.1	教育委員会事務局 機構改革 総務学事課——教育総務係・教育指導係
20.4.1	松ヶ原小学校閉校, 松ヶ原地区スクールバス運行開始
20.8.28	玖波小・中学校空調機設置(全普通教室及び特別教室の一部)
21.3.11	市内中学校パソコン教室更新
21.4.1	教育委員会事務局機構改革 生涯学習課——社会教育係・施設スポーツ係・青少年育成係
21.7.18	大竹小学校校舎改築工事着工
22.3.23	大竹小学校校舎第1期分完成・引渡

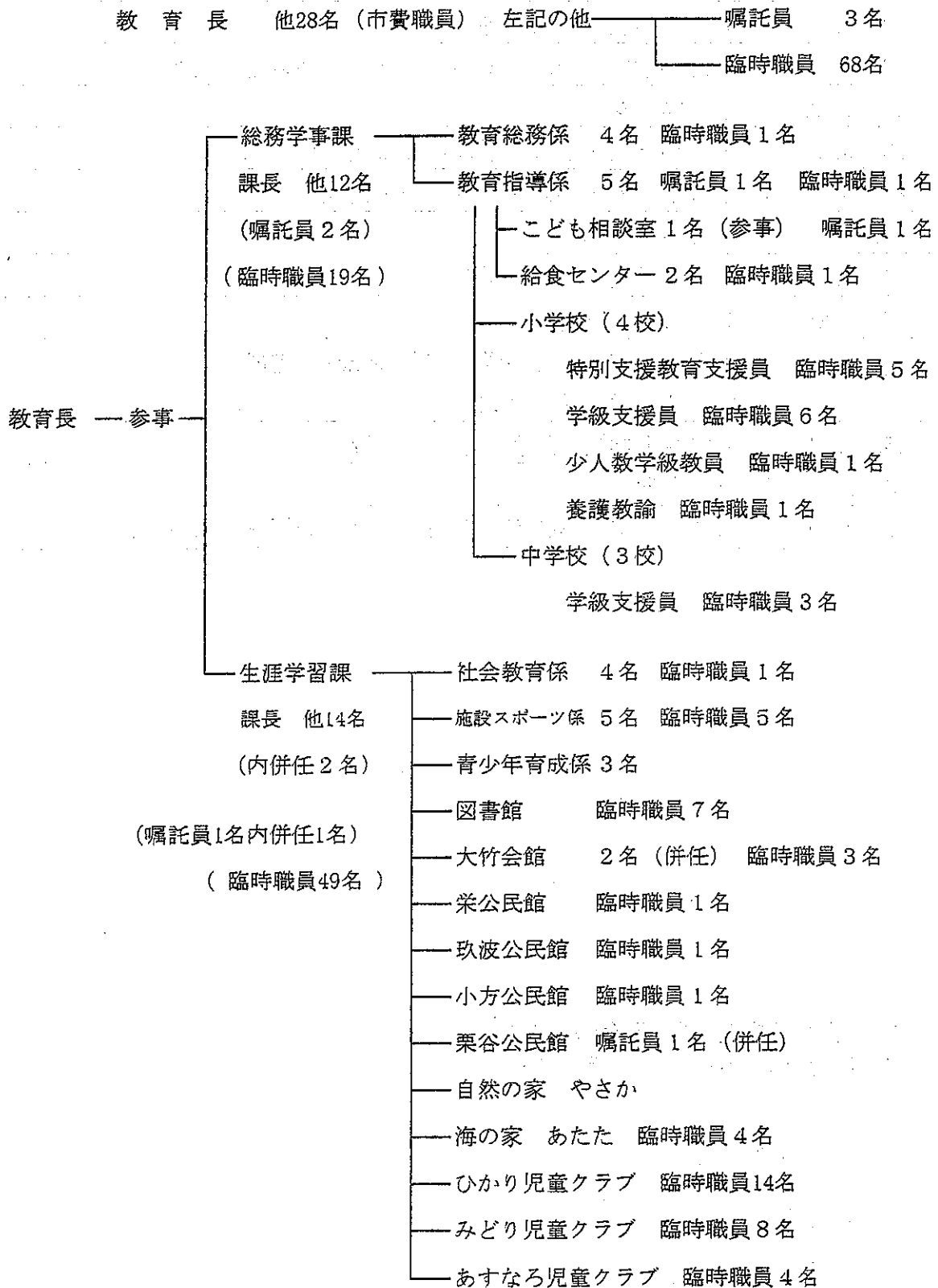
年 月 日	概 要
23. 3. 24	ひかり児童クラブ完成
23. 3. 31	大竹小学校校舎改築完成
23. 4. 1	木野小学校閉校，木野地区スクールバス運行開始
23. 7. 22	学校図書システム導入
23. 9. 30	小方小学校・小方中学校移転改築工事着工
24. 3. 29	小方小学校・小方中学校プール完成
24. 4. 1	栗谷中学校休校
24. 9. 1	市内小学校パソコン教室更新
25. 2. 28	給食センター完成
25. 3	小方小学校・小方中学校校舎移転改築完成 みどり児童クラブ完成
25. 4. 1	穂仁原小学校，阿多田小学校閉校
26. 9. 30	栗谷中学校閉校
27. 3. 4	玖波公民館が第67回優良公民館表彰最優秀館に選ばれる

◆第五次大竹市総合計画（わがまちプラン）のイメージキャラクター◆



ピースくん

## 2. 教育委員会機構（平成27年5月1日現在）



※大竹会館・玖波公民館・栗谷公民館には市長部局（市民税務課）との併任辞令を受けている職員を含む。

総務学事課

〒739-0692 大竹市小方1丁目11番1号  
FAX:0827-57-7124  
E-mail: sougaku@city.otake.hiroshima.jp

教育総務係 TEL:0827-59-2184

- (1) 公文書の收受，発送及び整理に関すること。
- (2) 教育委員会の会議に関すること。
- (3) 教育行政に関する重要施策の企画及び総合調整に関すること。
- (4) 教育行政施策の普及及び広報並びに教育行政に関する相談に関すること。
- (5) 条例，規則，規程等の審査及び公告式に関すること。
- (6) 公印に関すること。
- (7) 儀式，表彰及び交際に関すること。
- (8) 陳情及び請願の受理に関すること。
- (9) 秘書及び渉外に関すること。
- (10) 事務局職員及び市費教職員の人事に関すること。
- (11) 給与諸手当に関すること。
- (12) 調査統計に関すること。
- (13) 教育委員会の予算及び決算並びに経理に関すること。
- (14) 学校予算の配当に関すること。
- (15) 学校備品等の整理に関すること。
- (16) 学校施設の新築，増築及び改築計画の策定並びに実施に関すること。
- (17) 学校施設等の教育財産の取得及び処分を市長に申し出ること並びに教育財産の管理に関すること。
- (18) 学校施設の業務委託に関すること。
- (19) 学校施設台帳の整理に関すること。
- (20) 学校施設の目的外使用に関すること。
- (21) 学校用地等の借り上げに関すること。
- (22) 学校施設整備に係る国又は県に対する補助金等の交付申請及び精算報告に関すること。
- (23) 教員住宅に関すること。
- (24) 事務局及び課の庶務に関すること。

教育指導係 TEL:0827-59-2185

- (1) 県費教職員の人事及び給与に関すること。
- (2) 学校の組織及び編成に関すること。
- (3) 通学区域に関すること。
- (4) 通学バスの運行に関すること。
- (5) 児童及び生徒の就学，入学，転退学及び卒業に関すること。
- (6) 就学援助，就学奨励その他育英奨学に関すること。
- (7) 教科用図書等の給与に関すること。
- (8) 教科書の採択，その他教材に関すること。
- (9) 教職員団体及び学校関係諸団体に関すること。
- (10) 教育課程，学習指導その他学校教育の指導に関すること。
- (11) 児童及び生徒の生活指導，進路指導及び教育相談に関すること。
- (12) 教職員の研修に関すること。
- (13) 学校の人権教育に関すること。
- (14) 私立学校に関すること。
- (15) 教育研究会に関すること。
- (16) 英語指導助手に関すること。
- (17) 私立幼稚園就園奨励費補助金及び外国人学校就学助成補助金の交付に関すること。
- (18) 特別支援教育に関すること。
- (19) 学校の保健計画及び指導に関すること。
- (20) 教職員，児童及び生徒の保健衛生に関すること。
- (21) 学校医等に関すること。
- (22) 独立行政法人日本スポーツ振興センターに関すること。
- (23) 学校環境衛生に関すること。
- (24) 交通安全及び学校安全に関すること。
- (25) 学校給食に関すること。
- (26) こども相談室に関すること。
- (27) 教育相談カウンセリングに関すること。
- (28) その他学校教育に関すること。

## 社会教育係

TEL:0827-53-5800 / FAX:0827-53-5801

- (1) 生涯学習に関する事。
- (2) 成人教育に関する事。
- (3) 女性教育に関する事。
- (4) 高齢者教育に関する事。
- (5) 視聴覚教育に関する事。
- (6) 人権教育に関する事。
- (7) 社会教育委員等に関する事。
- (8) 文化財保護及び文化財審議会に関する事。
- (9) 講座、講演会及び展示会に関する事。
- (10) 芸術及び文化の奨励に関する事。
- (11) 総合市民会館事業に関する事。
- (12) 大竹会館事業の指導及び助言に関する事。
- (13) 公民館事業の指導及び助言に関する事。
- (14) 図書館事業の指導及び助言に関する事。
- (15) 社会教育関係団体等の指導及び育成に関する事。
- (16) 社会教育等の予算及び決算並びに経理に関する事。
- (17) 勤労青少年ホームに関する事。
- (18) その他社会教育に関する事。
- (19) 課の総合調整及び庶務に関する事。

## 施設スポーツ係

TEL:0827-53-6677 / FAX:0827-54-2121

- (1) 生涯スポーツの振興に関する事。
- (2) スポーツ関係団体の指導及び育成に関する事。
- (3) スポーツ推進委員等に関する事。
- (4) スポーツ講座等に関する事。
- (5) その他スポーツに関する事。
- (6) 社会教育施設等の整備計画に関する事。
- (7) 社会教育施設等の教育財産の取得及び処分を市長に申し出る事並びに社会教育財産の管理に関する事。
- (8) 総合市民会館の運営及び維持管理に関する事。
- (9) 大竹会館の運営及び維持管理に関する事。
- (10) 公民館の運営及び維持管理に関する事。
- (11) 図書館の維持管理に関する事。
- (12) 社会体育施設の維持管理に関する事。
- (13) 大竹市海の家あたたに関する事。
- (14) 大竹市自然の家やさかに関する事。
- (15) 三倉岳人工登はん壁に関する事。
- (16) 晴海臨海公園の運動施設及び有料公園施設（公園内倉庫を除く。）の使用許可並びに使用料の徴収及び減免に関する事。
- (17) さかえ公園の運動施設の使用許可に関する事。
- (18) 手すき和紙作業所に関する事。
- (19) 市民スポーツ広場に関する事。
- (20) 公立学校体育施設の開放事業に関する事。
- (21) 社会教育施設及びスポーツ等の予算及び決算並びに経理に関する事。
- (22) その他社会教育施設等の維持管理に関する事。

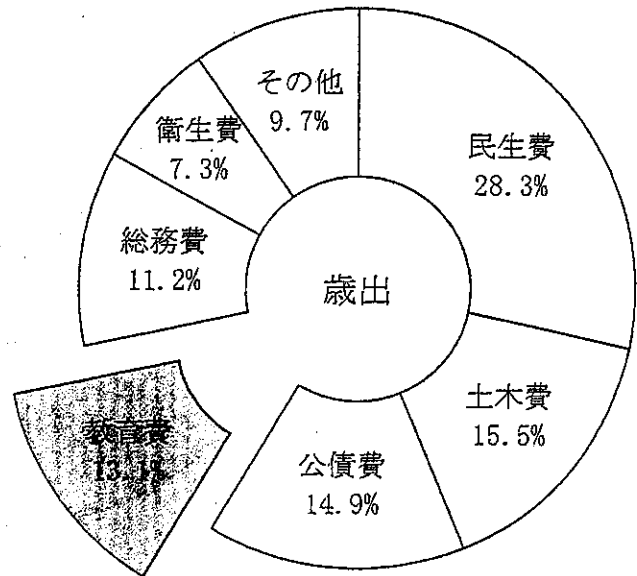
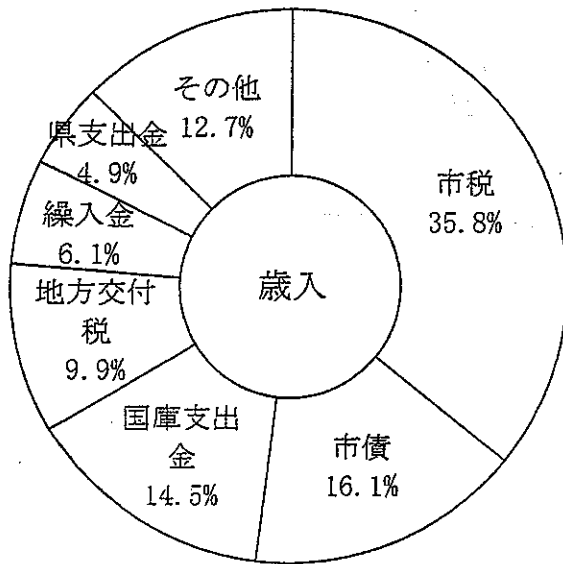
## 青少年育成係

TEL:0827-53-5800 / FAX:0827-53-5801

- (1) 家庭教育及び乳幼児教育に関する事。
- (2) 青少年育成に関する事。
- (3) 放課後児童クラブに関する事。
- (4) 青少年問題協議会に関する事。
- (5) 青少年育成センターに関する事。

### 3. 教育財政

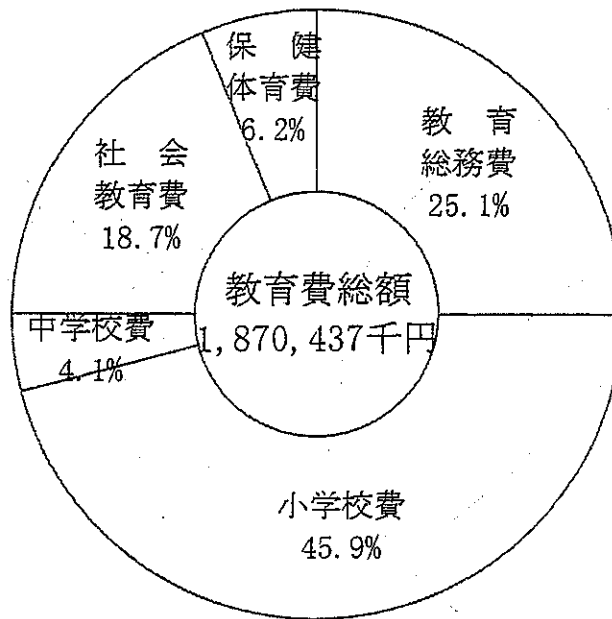
#### (1) 平成27年度一般会計予算概要



歳入	予算額 (千円)	構成比
1 市税	5,086,144	35.8%
2 地方譲与税	72,101	0.5%
3 利子割交付金	9,276	0.1%
4 配当割交付金	29,103	0.2%
5 株式等譲渡所得割交付金	14,744	0.1%
6 地方消費税交付金	500,625	3.5%
7 自動車取得税交付金	12,549	0.1%
8 地方特例交付金	14,880	0.1%
9 地方交付税	1,415,288	9.9%
10 交通安全対策特別交付金	5,229	0.0%
11 分担金及び負担金	231,836	1.6%
12 使用料及び手数料	293,764	2.1%
13 国庫支出金	2,066,453	14.5%
14 県支出金	692,008	4.9%
15 財産収入	93,521	0.7%
16 寄附金	4	0.0%
17 繰入金	870,036	6.1%
18 繰越金	1	0.0%
19 諸収入	528,549	3.7%
20 市債	2,288,019	16.1%
合計	14,224,130	100.0%

歳出	予算額 (千円)	構成比
1 議会費	206,600	1.5%
2 総務費	1,593,860	11.2%
3 民生費	4,031,509	28.3%
4 衛生費	1,038,209	7.3%
5 労働費	120,102	0.8%
6 農林水産業費	213,511	1.5%
7 商工費	255,550	1.8%
8 土木費	2,186,511	15.5%
9 消防費	570,816	4.0%
10 教育費	1,870,437	13.1%
11 災害復旧費	5	0.0%
12 公債費	2,117,020	14.9%
13 予備費	20,000	0.1%
合計	14,224,130	100.0%

(2) 平成27年度教育費予算概要



歳出	予算額(千円)	構成比
1 教育総務費	469,462	25.1%
①教育委員会費	15,661	
②事務局費	339,114	
③教育振興費	109,431	
④教員住宅管理費	212	
⑤こども相談室費	4,782	
⑦学校事務センター費	262	
2 小学校費	859,257	45.9%
①学校管理費	85,074	
②教育振興費	31,164	
③玖波小学校改築事業費	743,019	
3 中学校費	76,161	4.1%
①学校管理費	59,518	
②教育振興費	16,643	
4 社会教育費	348,886	18.7%
①社会教育総務費	126,269	
②文化財保護費	1,082	
③人権教育振興費	78	
④青少年教育費	34,678	
⑤総合市民会館費	36,706	
⑥大竹会館費	65,345	
⑦地区公民館費	29,631	
⑧図書館費	45,465	
⑨自然の家管理費	3,834	
⑩海の家管理費	5,798	
5 保健体育費	116,671	6.2%
①保健体育総務費	27,783	
②体育施設費	5,686	
③体育振興費	7,432	
④学校給食費	75,770	
教育費合計	1,870,437	100.0%



### (3) 平成27年度教育関係主要事業

事業名	内容
学習環境サポート事業 14,803千円	通常の学級に在籍する発達障害等のある児童生徒へのサポートのため、市内小中学校に学級支援員を配置します。
読書活動推進事業 1,481千円	学校図書館に読書及び学習活動上の支援を行う「読書活動推進員」を配置することで、市内小中学校の読書及び学習環境を改善し、幅広い視野を持った心豊かな児童生徒の育成を図ります。
玖波小学校施設整備事業 736,886千円	児童と教職員の安全と適切な教育環境を確保するため、玖波小学校に耐震対策を行います。平成27年度から平成28年度にかけて、小学校校舎の改築を行います。新校舎には、あすなろ児童クラブを併設します。また、体育館（講堂）については、平成27年度に耐震補強を行います。
奨学金貸付事業 19,928千円	経済的な理由により修学の機会がなくなることのないよう、学資の貸付を行います。平成24年度から、市内に一定期間居住することを要件とした奨学金の返還免除制度を新たに導入し、制度の充実を図っています。
こども相談室運営事業 4,782千円	家庭などで問題を抱えながら生活している子ども・保護者に対し、幼児期から青年期まで一貫した相談を実施できる場所を提供するとともに、不登校の児童・生徒に対し、学習・生活面での支援を行い自立への基礎を培います。
放課後子ども教室事業 (放課後子ども総合プラン) 2,800千円	次世代を担う人材育成のため、地域や各種団体と連携し、「放課後子ども教室」を開催します。地域の方々の協力を得て、放課後や週末などを利用して、子どもたちに学習機会や体験活動の場を提供します。
放課後児童クラブ事業 (放課後子ども総合プラン) 33,025千円	保護者が仕事等で昼間家庭にいない児童について、市内3ヶ所の「放課後児童クラブ」において、放課後や長期休暇中、学校行事の代休日に遊びや生活指導を行い、仕事と子育ての両立支援を行います。平成27年度から、対象児童を小学校1～3年生から小学校1～6年生に広げます。
小方公民館大ホール解体等事業 11,000千円	小方公民館の大ホール（体育館）が、国の岩国大竹道路事業の区域内となるため、解体等に必要な設計を行います。
図書館空調設備更新事業 13,650千円	図書館利用者の環境改善のため、老朽化した空調設備を更新します。平成27年度は、基本設計及び実施設計を行います。
大竹会館耐震診断事業 6,300千円	建築物の耐震改修の促進に関する法律の改正に基づき、耐震診断の実施と結果報告が義務付けとなる大竹会館の旧館部分の耐震診断を実施します。
小方学園プール開放事業 4,500千円	小方学園のプールを広く市民に開放し、市民の健康増進と水泳振興を図ります。

#### (4) 教育費当初予算の推移

##### ①歳出予算性質別内訳

(単位：千円、%)

性質別	平成25年度		平成26年度		平成27年度	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
1 人件費	228,727	23.9	221,063	24.2	221,407	11.8
2 物件費	483,966	50.5	496,291	54.2	462,747	24.7
3 維持補修費	34,776	3.6	34,557	3.8	31,405	1.7
4 扶助費	29,389	3.1	31,410	3.4	31,781	1.7
5 補助費等	38,186	4.0	40,010	4.4	45,942	2.5
6 普通建設事業等	93,676	9.8	40,077	4.4	806,163	43.1
7 積立金	23,350	2.4	28,743	3.1	251,120	13.4
8 出資金・貸付金	25,812	2.7	23,028	2.5	19,872	1.1
合計	957,882	100.0	915,179	100.0	1,870,437	100.0

##### ②一般会計予算に占める割合

	教育費予算 (千円)	対一般会計 比率 (%)	市民1人当たりの 教育費 (円)
平成17年度	857,460	7.3	28,024
平成18年度	901,462	8.0	29,627
平成19年度	882,175	7.5	29,262
平成20年度	936,814	8.0	31,429
平成21年度	1,887,417	13.9	63,682
平成22年度	1,756,362	12.6	59,873
平成23年度	2,294,316	15.9	79,254
平成24年度	2,761,044	19.2	95,376
平成25年度	957,882	7.0	33,741
平成26年度	915,179	6.7	32,308
平成27年度	1,870,437	13.1	66,542

### III 学校教育

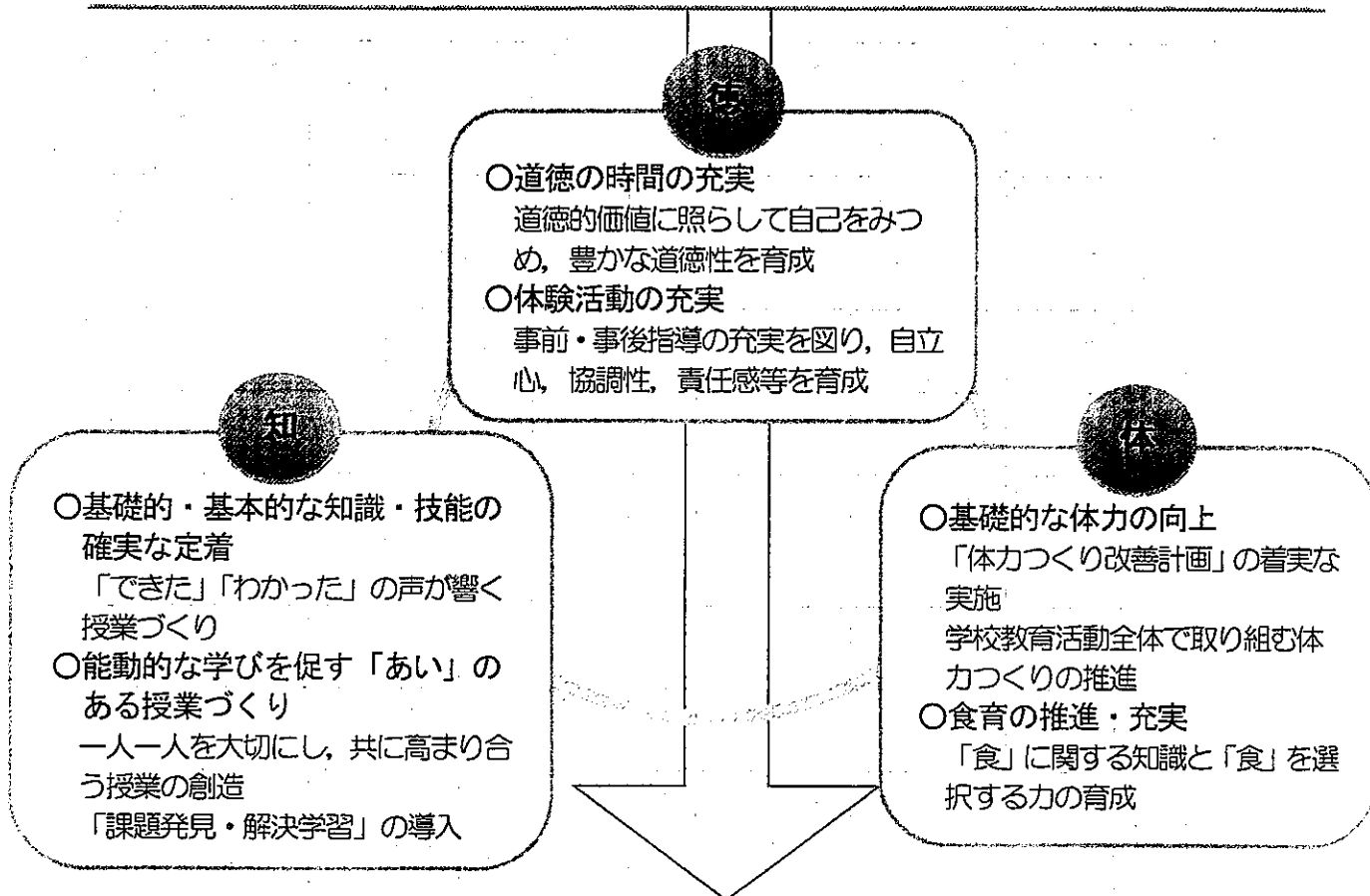


# 1. 学校教育の目標

## 平成27年度大竹市教育委員会学校教育概要図

**教育目標：「笑顔・元気」かがやく大竹っ子の育成**

**めざす子供像：自分の力で人生を生き抜くたくましい子供**



### 大竹市がめざす教育推進のために

#### 施策1 小中一貫教育の推進

- ★各中学校区小中一貫教育企画委員会の設置
- ★9年間を見通した教育活動の推進
- ★中学校区ごとの研修の充実

#### 施策2 児童生徒一人一人の将来に生きて働く力の定着

- ★国・県の指定事業による「知・徳・体」の推進
  - 玖波中学校区 「道徳教育改善・充実」総合対策事業
  - 小方中学校区 「学びの変革」パイロット校事業
  - 大竹中学校区 生徒指導実践指定校支援事業
  - 玖波小・小方小・大竹小 「山・海・島」体験活動“ひろしま全県展開”プロジェクト
  - 玖波小・大竹小・大竹中 市町の挑戦支援加配（道徳・算数・数学）
  - 小方小学校 教科を限定した指定校（算数）
- ★市の事業
  - 読書活動推進員配置
  - 特別支援教育支援員、学級支援員配置事業
  - こども相談室運営事業
  - 学校給食センター及び栄養教諭による食育推進事業



## 2. 小・中学校等の現況

小学校一覧表

(平成27年5月1日)

校番	校名 創立年月	児童数 人	学級数	教員数			栄養 職員数 人	事務 職員数		屋内 運動場 m <sup>2</sup>	運動場 総面積 m <sup>2</sup>	教室数
				校長・教頭・ 主幹教諭・ 教諭・助教諭	養護 教諭	栄養 教諭		県 人	市 人			
1	玖波小学校 明治6年4月	154	7	9	1	—	—	1	—	726	9,690	16
2	小方小学校 明治6年4月	419	17	20	1	—	—	1	—	1,431	23,832	28
3	大竹小学校 明治6年4月	675	25	30	1	1	—	1	—	1,762	8,253	34
4	栗谷小学校 明治11年8月	7	2	3	—	—	—	—	—	499	3,509	8
計	4校	1,255	51	62	3	1	—	3	—	4,418	45,284	86

中学校一覧表

(平成27年5月1日)

校番	校名 創立年月	生徒数 人	学級数	教員数			栄養 職員数 人	事務 職員数		屋内 運動場 m <sup>2</sup>	運動場 総面積 m <sup>2</sup>	教室数
				校長・教頭・ 教諭	養護 教諭	栄養 教諭		県 人	市 人			
1	玖波中学校 昭和22年4月	88	4	8	1	—	—	—	—	792	8,411	15
2	小方中学校 昭和22年4月	176	8	12	1	1	—	1	—	1,663	23,832	22
3	大竹中学校 昭和22年4月	305	11	18	1	—	—	1	—	1,747	11,808	36
計	3校	569	23	38	3	1	—	2	—	4,202	44,051	73

児童・生徒数の推移

区分	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
小学校	1,949	1,920	1,830	1,786	1,782	1,724	1,669	1,597	1,562	1,492	1,433	1,371	1,339	1,344	1,274	1,255	1,248	1,255
中学校	926	897	888	865	825	803	765	773	741	750	727	732	660	632	606	618	600	569
計	1,494	1,492	1,448	1,437	1,389	1,326	1,265	1,211	1,168	1,147	1,119	1,090	1,025	1,011	966	974	952	947
	1,381	1,325	1,270	1,214	1,218	1,201	1,169	1,159	1,135	1,095	1,041	1,013	974	965	914	899	896	877
計	2,875	2,817	2,718	2,651	2,607	2,527	2,434	2,370	2,303	2,242	2,160	2,103	1,999	1,976	1,880	1,873	1,848	1,824

学校別児童・生徒数の推移

	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
玖波小学校	341	337	310	308	308	295	283	284	263	254	244	230	206	201	191	176	161	154
松ヶ原小学校	41	36	31	27	20	19	14	13	8	6								
小方小学校	551	542	505	479	489	471	459	427	450	421	429	406	396	398	370	391	403	419
徳仁原小学校	18	18	23	22	21	15	14	14	10	11	8	7	7	5	5			
阿多田小学校	27	29	26	27	24	20	18	16	13	8	8	10	11	13	14			
大竹小学校	884	873	862	854	863	852	841	805	783	756	712	688	691	716	685	678	676	675
木野小学校	42	42	35	34	30	28	23	18	17	17	17	16	15					
栗谷小学校	45	43	38	35	27	24	17	20	18	19	15	14	13					
小学校計	1,949	1,920	1,830	1,786	1,782	1,724	1,669	1,597	1,562	1,492	1,433	1,371	1,339	1,344	1,274	1,255	1,248	1,255
玖波中学校	182	201	215	195	169	156	143	147	144	150	153	154	140	134	117	113	95	88
小方中学校	310	282	274	251	250	243	239	242	212	217	204	221	197	182	187	190	202	176
大竹中学校	414	394	376	393	380	384	364	369	365	368	356	345	314	310	302	315	303	305
栗谷中学校	20	20	23	26	26	20	19	15	20	15	14	12	9	6	6			開校
中学校計	926	897	888	865	825	803	765	773	741	750	727	732	660	632	606	618	600	569
合計	2,875	2,817	2,718	2,651	2,607	2,527	2,434	2,370	2,303	2,242	2,160	2,103	1,999	1,976	1,880	1,873	1,848	1,824

小・中学校施設の状況

学校名	玖波小学校	小方小学校	大竹小学校	栗谷小学校	玖波中学校	小方中学校	大竹中学校	
校地面積	建物敷地	4,878㎡	18,761㎡	20,297㎡	2,959㎡	13,700㎡	18,761㎡	
	運動場	9,690㎡	23,832㎡	8,253㎡	3,509㎡	8,411㎡	23,832㎡	
	その他		342㎡	412㎡	267㎡		342㎡	
校舎 倉庫・付属 棟等を除く	棟区分 構造	旧館	校舎 1,306㎡	A棟 2,632㎡	校舎 1,125㎡	校舎 3,962㎡	校舎 4,424㎡	
		R	S43.8	R	H25.2	R	S57.3	R
	棟区分 構造	新館	2,192㎡		B棟 1,287㎡			
		R	S53.3		R	H22.3		
	棟区分 構造				C棟 1,431㎡			
		R			R	H23.3		
棟区分 構造				D棟 1,390㎡				
	R			R	H23.3			
屋内 運動場	保有面積	726㎡	1,431㎡	1,762㎡	499㎡	792㎡	1,663㎡	
	建築年月	S54.3	H25.2	H7.3	S58.3	S57.3	H25.2	
その他主要設備			太陽光発電設備 自家発電設備	太陽光発電設備 地中熱利用換気設備			太陽光発電設備 自家発電設備	

参考資料：平成27年度公立学校施設実態調査

※小方小学校、小方中学校は同一敷地内にある施設一体型の小中一貫教育校です。

※小方小学校、小方中学校の屋内運動場保有面積には、屋根付プールを含みます。

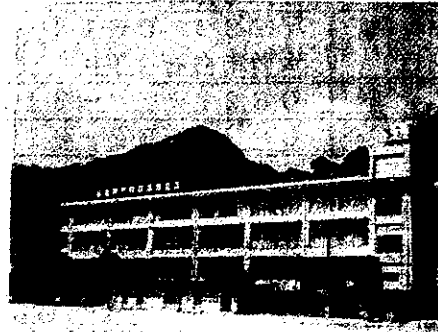
※構造 R：鉄筋コンクリート造





くばしょうがっこう  
玖波小学校

所在地	〒739-0651 大竹市玖波7丁目1-1		
電話	0827-57-3101		
FAX	0827-57-3102		
校長名	池田 良枝		
児童数	154	学級数	7
E-mail	kubasho@fch.ne.jp		
HP	<a href="http://members.fch.ne.jp/kubasho/">http://members.fch.ne.jp/kubasho/</a>		



※校舎改築のため、2学期以降、玖波小学校は玖波中学校に移転しています。  
電話・FAX番号は変更ありません。

★教育目標

「夢を持ち 自ら夢を実現する児童・生徒の育成」

★研究主題

自分のよさを自覚し、自他を大切にしながら、主体的に生きる児童生徒の育成

★特色

- ・ 道徳教育の改善充実を通して、自分の思いを表現し、互いに考え合う子を育てています。
- ・ 「あいざつがんばり学校」「そうじがんばり学校」をめざして日々取り組んでいます。
- ・ わんぱく3活動（わんぱくタイム・わんぱく大将・わんぱくフェスタ）を行い、体力アップをめざしています。



おがたしょうがっこう  
小方小学校

所在地	〒739-0628 大竹市小方ヶ丘1番1号		
電話	0827-57-7158		
FAX	0827-57-7208		
校長名	小西 啓二		
児童数	419	学級数	17
E-mail	ogatako@fch.ne.jp		
HP	<a href="http://members.fch.ne.jp/ogatako/">http://members.fch.ne.jp/ogatako/</a>		



★教育目標

かしこく やさしく たくましく ～自ら学び ともに学び合う 教育活動の実践～

★研究主題

児童生徒の主体的な学びが生まれる授業の創造～学び合い、練り合う協同的な学習を通して～

★特色

学校教育目標「かしこく やさしく たくましく～自ら学び ともに学び合う 教育活動の実践～」として、児童・生徒・地域をつなぐ小中一貫教育を実践します。

- かしこく 「あい」のある協働学習の展開
- やさしく 「習慣」の徹底 キーワード「主体的な学び」
- たくましく 「継続」した健康の取組

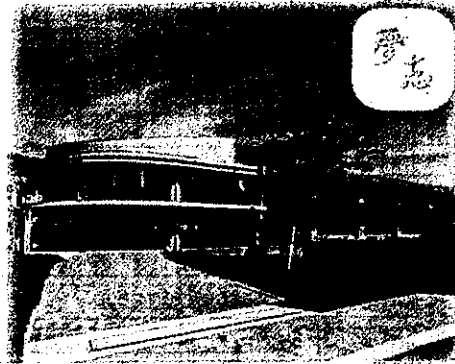
小中一貫教育の特色を活かし、地域に根ざした「おおたけ」を愛し、誇りに思う児童・生徒を育てる教育活動を実践します。児童・生徒・地域の方が誇りに思う学校づくりを目指します。



おおたけしょうがっこう

大竹小学校

所在地	〒739-0614 大竹市白石2丁目1-1		
電話	0827-52-3177		
FAX	0827-52-3178		
校長名	石井 憲幸		
児童数	675	学級数	25
E-mail	otakesho@fch.ne.jp		
HP	http://members.fch.ne.jp/otakesho/		



★教育目標

学校教育目標 「みんなで伸びる」  
～夢や志をもち、自ら挑戦し、ともに学び合う児童の育成～

★研究主題

「思考力を育成する指導の在り方」  
～主体的にかかわり合い、自らの学びを深める算数科の授業づくりを通して～

★特色



- 『学びあい・認めあい・励ましあい・支えあい』を基盤とし、全員が主体的にかかわり、学ぶ授業づくりを目指します。
- 感謝の気持ちをもち、「ありがとう」の響き渡る学校を目指します。
- 私たちの取組を保護者・地域に公開し、信頼され、期待される学校づくりに努めていきます。



くりたにしょうがっこう

栗谷小学校

所在地	〒739-0645 大竹市栗谷町小栗林510		
電話	0827-56-0003		
FAX	0827-56-0900		
校長名	吉岡 くるみ		
児童数	7	学級数	2
E-mail	kuritani@fch.ne.jp		
HP	http://members.fch.ne.jp/kuritani/		



★教育目標

「かしこく やさしく たくましく」 ～自分を創る、未来を創る～

★研究主題

児童の主体的な学びが生まれる授業の創造 ～学び合い、練り合う協働的な学習を通して～

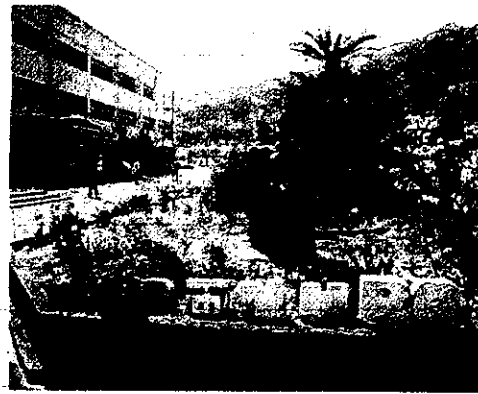
★特色

美しい自然環境のもと、少人数指導の良さを生かし、学力の確実な定着を図っています。昨年度、30年以上継続している、野鳥保護・環境保護活動が認められ、「野生物保護活動実績発表大会」で、『日本鳥類保護連盟会長賞』を受賞しました。ユネスコスクール加盟校としてESDに取り組んでいます。「考えは地球規模で、活動は足もとから」の理念のもと、地域の特性を生かした体験活動で豊かな心を育成し、地域を誇りに思い、自分を創る、未来を創る子ども達を育てています。



くばちゅうがっこう  
玖波中学校

所在地	〒739-0651 大竹市玖波4丁目12-1		
電話	0827-57-7241		
FAX	0827-57-3060		
校長名	久保 忠		
生徒数	88	学級数	4
E-mail	kubachu@fch.ne.jp		
HP	現在準備中です		



★教育目標

「夢を持ち、自ら夢を実現する児童・生徒の育成  
～確かな学力と豊かな心を持ち、実行力のある生徒の育成～  
挨拶と授業を大切にす学校、地域の一員として貢献する学校、体力を伸ばす学校をめざします。

★研究主題

「自分のよさを自覚し、自他を大切にしながら、主体的に生きる児童・生徒の育成」  
今年度は、玖波小中連携して「自分の思いを表現し、互いに考え合う授業」をめざします。

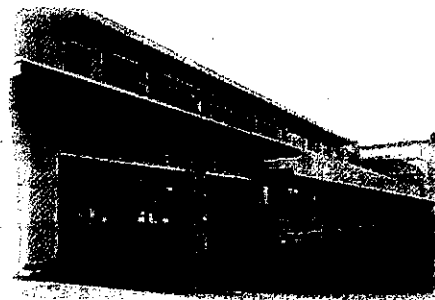
★特色

- 学力向上を目指して、自分で計画を立ててがんばるための「学習プラン」やテスト前に教科ドリルを行う「B.A.S.I.C」等を実行しています。小中連携して「家庭学習がんばり週間」を実施したり、予習（Y）復習（F）の充実のため「YFノート頑張り週間」を実施し、頑張る生徒を応援します。
- 心と体を鍛えるために、先輩・後輩一緒に学校行事、掃除、あいさつ、部活動、ボランティア活動等を頑張っています。生徒朝会では、生徒会を中心に独自の運動「玖波中ジムナスティック」を楽しんでいます。
- 市の土地を借りて「スクラム広場」と名付け、玖波小学校の皆さんと一緒に花を植えました。また、生徒会を中心としたボランティア活動で地域に貢献します。
- 将来の生き方を考えるキャリア教育では、2年生で職場体験学習、3年生で高校の出前授業や大学体験を行い、自分の進路をじっくり考える機会を大切にします。



おがたちゅうがっこう  
小方中学校

所在地	〒739-0628 大竹市小方ヶ丘1番1号		
電話	0827-57-7211		
FAX	0827-57-7208		
校長名	小西 啓二		
生徒数	176	学級数	8
E-mail	ogata.jh@fch.ne.jp		
HP	現在準備中です		



★教育目標

「かしこく やさしく たくましく」 ～自ら学び ともに学び合う 教育活動の実践

★研究主題

「児童生徒の主体的な学びが生まれる授業の創造～学び合い、練り合う協同的な学習を通して～

★特色 …小中一貫教育校としての特色を活かした教育活動

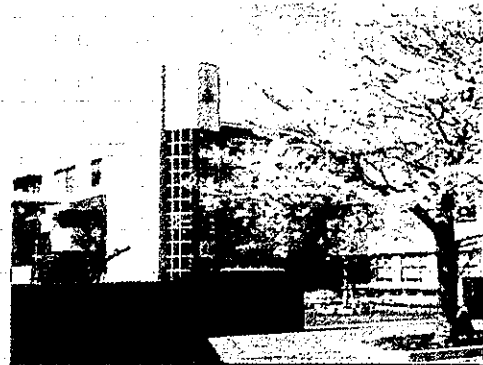
- ・9年間を見通したカリキュラムに基づいて、あいのある協同学習を展開し、自らへの自信を持たせま
- ・わくわくする異学年交流、合同学校行事によって、互いに認め合い、高め合う生徒を育てます。
- ・地域に学び、地域を学びの場にすることで、大竹を愛し、誇りに思う生徒を育てます。



おおたけちゅうがっこう

### 大竹中学校

所在地	〒739-0614 大竹市白石1丁目8-1		
電話	0827-52-5177		
FAX	0827-52-5178		
校長名	笹口 由美子		
生徒数	306	学級数	11
E-mail	otakejhs@fch.ne.jp		
HP	<a href="http://members.fch.ne.jp/otakejhs/">http://members.fch.ne.jp/otakejhs/</a>		



#### ★教育目標

みんなで伸びる～可能性への挑戦 ①授業を大切にす学校 ②明るく元気な学校 ③組織的な学校

#### ★研究主題

生徒が「わかった」「楽しい」と感じる授業の創造～生徒が活発に発言できる授業づくりを通して～

#### ★特色

- 「5つの共通実践」「おおたけ授業スタイル」など、授業改善のための独自の取組を推進しています。
- 生徒会活動を軸に、縦割り集団での活動を積極的に取り入れ、生徒の主体性や自治の力を育てる指導の充実を図っています。(例:「やりきり清掃」「一丸あいさつ」など)
- 「児童・生徒の主体的な学びを育てる小中連携」をテーマに、大竹小学校と共に研究と実践を進め、合同で教育研究会を開催します。
- 5月23日を「生命尊重の日」と定め、毎年この日には授業参観と生命尊重をテーマにした講演会を行っています。

#### 大竹中学校生徒会「生命尊重の日」アピール文

- 一つ 私たち大竹中学校生徒は、自分の命の尊さを知る人になろう。
- 一つ 私たち大竹中学校生徒は、他人の命の尊さを忘れない人になろう。
- 一つ 私たち大竹中学校生徒は、命を輝かせる人になろう。

#### おおたけしりつちゅうがっこうきょうどうじむしつ 大竹市立小中学校共同事務室

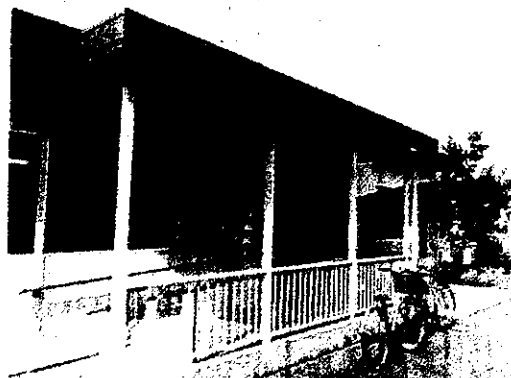
所在地	〒739-0628 大竹市小方ヶ丘1-1 (小方小学校・小方中学校内)		
電話	0827-57-0152		
FAX	0827-57-0152		
E-mail	otakejimu@fch.ne.jp		

大竹市立小中学校の管理運営に係る事務及び業務を組織的かつ集中的に処理し、学校管理運営の適正化及び効率化を図っています。

週1回の共同事務実施日を設け、各学校における事務の情報の共有化に努めています。

こどもそうだんしつ  
こども相談室

所在地	〒739-0605 大竹市立戸1丁目8-5
電話	0827-57-0021
FAX	0827-54-0039
E-mail	<a href="mailto:otake-soudanshitsu@fch.ne.jp">otake-soudanshitsu@fch.ne.jp</a>
受付時間	月曜日～金曜日（祝日除く） 8:30～17:15



☆スタッフ

- 室長：主に保護者等からの相談を担当します。  
相談員：主に通室児童・生徒への支援を担当します。

☆相談について

家庭や学校などで問題や悩みを抱えながら生活している子どもや保護者に対し、幼児期から青年期まで一貫した相談を電話及び面接にて行っています。  
また、不登校等にかかわるさまざまな状況が改善されるよう支援及び指導を行っています。  
その他、大竹市内の小中学校に勤務する教職員の相談も受け付けています。

☆不登校児童・生徒への支援について

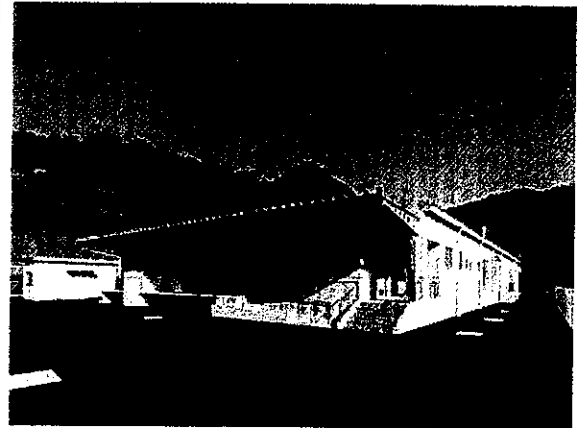
- ・まず安心できる場所の提供からはじめ、一人一人に合わせた、今必要と思われる支援を行います。
- ・決められたスケジュールがないことが特徴です。
- ・漫画（在庫約800冊）を読んだり、DVDを観たり、一人で過ごす時間も大切にします。
- ・スタッフや同じ通室生と遊ぶこともできます。  
（通室時間は月曜日～金曜日の午前9時から午後4時までです）
- ・カウンセリングを受けたり、勉強したりすることもできます。

※平成26年度 こども相談室「相談受理状況」は次ページのとおり。



おおたけしきゅうしょくセンター  
大竹市給食センター

所在地	〒739-0628 大竹市小方ヶ丘1-19
電話	0827-57-7626
FAX	0827-57-7627
E-mail	kvushoku-c@city.otake.hiroshima.jp
建物構造	鉄骨造平屋建て
床面積	1,325.23㎡
調理能力	2,200食/日
開設	平成25年4月



給食センターキャッチフレーズ

おいしく食べて

おおきく育て

たくましいことと

けんこうな大竹っこ

☆大竹市のめざす学校給食のあり方

- (1) 大竹市の児童生徒の健全な成長を促すための、安全でおいしい給食
- (2) 児童生徒の望ましい食習慣を育てるための「食育の教材」となる給食
- (3) 地域の食文化を大切にし、郷土料理、地場産物を活用した給食
- (4) 人（児童生徒・教職員・保護者・地域・給食センター職員・生産者・仕入れ業者・行政等）のつながりを大切にした、心の通う給食

☆実施状況 (平成27年5月1日現在)

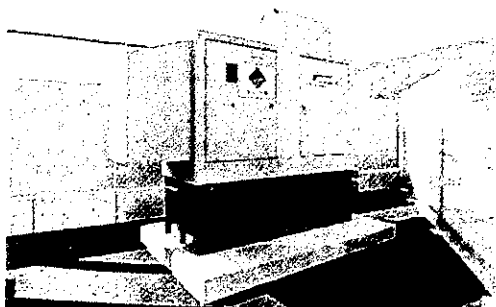
	学校数	児童生徒数	1食あたり給食費
小学校	4校	1,255人	250円
中学校	3校	569人	300円

食育キャラクター

もりもり  
たべるくん      まいあさ  
たべよちゃん



☆防災拠点としての設備



自家発電設備



貯水槽・備蓄倉庫





## IV 生涯學習



## 生涯学習

### 生涯学習都市宣言

平成9年3月25日  
決議

わたくしたちは大竹市民憲章の実現をねがい  
「ひとり <sup>いち</sup>学習 <sup>いち</sup>スポーツ <sup>いち</sup>趣味 <sup>いち</sup>ボランティア」を  
スローガンとして生涯にわたり  
心豊かに楽しく  
自分らしく学び続け  
ふれあいを大切にしながら  
みんなとともに生き  
たがいに認めあう  
生きがいと創造性豊かなまちづくりをめざして  
ここに「生涯学習都市おおたけ」を宣言する  
以上決議する。

1. 平成 26 年度生涯学習事業 (平成 27 年 3 月 31 日現在)

(1) 社会教育・青少年育成

○青少年教育

事業名	実施概要	実施場所	参加人数等
らんらんカレッジ2014	年間 41 教室	公民館 ほか	延べ 1,024 名
大竹市⇄豊見城市 (沖縄県) 中学生交歓交流事業	8 月 5 日～8 月 8 日	大竹市近郊	10 名
放課後子ども教室 (文部科学省委嘱事業)	5 月～3 月開講 教室 246 回	総合体育館 ほか	延べ 2,465 名
おはなし会	4 月～3 月(月 1 回) 年 12 回開催	おはなしコーナー	延べ 107 名
らんらんサポーター (らんらんサポートセンター)	年間活動		登録者数: 37 名
インターンシップ・ キャリア教育受入事業	インターンシップ 7 月 23 日～25 日 キャリア教育 8 月 20 日～26 日	総合市民会館 総合体育館 図書館 玖波公民館	インターンシップ 2 名 キャリア教育 6 名
児童生徒書初め大会	1 月 18 日 (日)	アゼリアホール	小学生: 126 名 中学生: 12 名 高校生: 3 名

○人権教育

事業名	実施概要	実施場所	参加人数等
参加型人権学習会 ～川柳に見る家族の絆～ (田中 久雄)	6 月 22 日 (日)	ギャラリーおおたけ	32 名
人権教育講座	6 月 18 日 (水) 7 月 4 日 (金)	小方小学校 玖波小学校	63 名 47 名
人権教育啓発	広報紙掲載 リーフレット等の配 布・ポスター掲示 人権作文	市内各所	

○成人・高齢者教育

事業名	実施概要	実施場所	参加人数等
成人のつどい	1月12日(祝)	アゼリアホール	214名
公民館講座	年60講座	各公民館ほか	延べ4,314名
勤労青少年ホーム	年間開催	総合市民会館ほか	ホーム登録者 14名

○芸術・文化の振興

事業名	実施概要	実施場所	参加人数等
市民文化講演会	10月26日(日) (尾木直樹)	アゼリアホール	720名
大竹市文化祭(19部門)	10月及び11月	ギャラリーおおたけ ほか	延べ3,316名
市役所ギャラリー	上半期:6月~11月 下半期:12月~5月	大竹市役所	上半期:15点 下半期:21点
ロビーコンサート	年2回開催	総合市民会館	100名

○放課後児童クラブ

(延べ人数)

事業名	実施概要	実施場所	登録者数
放課後児童クラブ運営 事業	・月~金曜日 下校時~18時	大竹小学校	148名
		ひかり児童クラブ A.B.C	
	・土曜日及び長期休暇 8時~18時	小方小学校	99名
		みどり児童クラブ A.B	
		玖波小学校 あすなる児童クラブ	38名

※ 待機児童数0名(平成27年3月31日現在)

○家庭教育・子育て支援

事業名	実施概要	実施場所	参加人数等
こそだて塾 ひよこルーム	9月～12月 年8回開催	総合市民会館 ほか	親子 20組 延べ 264名
親の力を学びあう学習 プログラム	10月23日(木) 12月25日(木)	総合市民会館	23名 17名
親子の絆づくり講座	11月7日(金)～ 連続4回開催	栄公民館	親子 延べ 56名
赤ちゃんピッコロ	年2回開催	小方公民館	延べ 36名
マタニティーヨガ	年3回開催	大竹会館	延べ 12名
赤ちゃん和妈妈が元気になる 講座	年3回開催	大竹会館	延べ 40名
赤ちゃん和妈妈の ベビーマッサージ	年1回開催	大竹会館	18名
リトミック	4月8日(火) 4月15日(火)	栄公民館 玖波公民館	親子 21組 42名 22組 45名
えほんでハートフル	①4ヶ月健診時 ②1歳6ヶ月健診時 (①②毎月1回ずつ 年合計24回開催)	大竹市役所	① 延べ 405名 ② 延べ 461名
おひざにだっこのおはなし会	毎月第2金曜日 年12回開催	ギャラリーおおたけ	延べ 239名
親子で楽しむおはなし会	毎月第2金曜日 年12回開催	ギャラリーおおたけ	延べ 229名
おはなし会	年8回開催	ギャラリーおおたけ	延べ 107名
子どもと本をつなぐために	6月火曜日 連続4回開催	ギャラリーおおたけ	延べ 96名
市民のつどい	7月5日(土)	アゼリアホール	500名
青少年健全育成講演会	11月15日(土)	総合市民会館	150名

(2) 文化財の保護

文化財の区分		指定年月日	文化財の名称	文化財の所在地
国登録有形文化財		H8. 12. 20	史員退息所, 物置, 油庫 (阿多田島灯台資料館)	阿多田
県名勝		S 24. 8. 12	弥栄峡	栗谷町大栗林 小方町後飯谷
県天然記念物		S 23. 9. 17	蛇喰磐	栗谷町大栗林
市指定重要文化財	史跡	S 58. 11. 4	旧山陽道木野川渡し場跡	木野一丁目
			亀居城跡	小方二丁目
		H4. 10. 27	浅生塚・芦路塚	元町四丁目
		H17. 3. 25	薬師寺の宝篋印塔	元町四丁目
			けごろもの碑	小方一丁目
	無形文化財	S 47. 9. 26	大竹祭奴行列・山車の風流	大竹地区
		H15. 5. 29	玖波宿本陣 陣入やっこ	玖波地区
	古文書	H9. 3. 27	所家文書	白石一丁目
		H18. 6. 23	森崎家文書	栗谷町大栗林
		H19. 6. 22	和田家文書	小方一丁目

## (3) スポーツ振興

事業名	実施概要	実施場所	参加人数等
大竹駅伝競走大会	1月11日(日)	総合市民会館 ほか	104 チーム 700名
ランランふれあい マラソン大会	12月7日(日)	晴海臨海公園	221名
健康づくり大会	年間	市内15地区	延べ3,160名
スイミング教室 (着衣水泳講座を含む)	1講座4回	小方学園プール	28名
一市町村一スポーツ推進事業 (卓球の日)	毎月第3金曜日 年12回	総合体育館	延べ478名
ラージボール卓球大会	6月8日(日)	総合体育館	42 チーム 299名
ターゲットバードゴルフ大会	5月18日(日)	小方学園グラウンド	70名
グラウンドゴルフ大会 (決勝大会を含む)	7月18日から 10月11日まで	市内5地区で実施	771名

## (4) その他

事業名	実施概要	実施場所	参加人数等
ジュニアコンサート	10月25日(土)	アゼリアホール	約500名
コーラスフェスティバル	11月16日(日)	アゼリアホール	約300名



2. 社会教育施設

(1) 総合市民会館（総合体育館除く）

○年間利用者数

(延べ人数)

区 分	平成24年度	平成25年度	平成26年度
老人福祉センター	19,195名	17,179名	17,316名
中央公民館	27,524名	28,982名	27,462名
勤労青少年ホーム	11,685名	11,161名	10,951名
合 計	58,404名	57,322名	55,729名

○年間使用料収入

区 分	平成24年度	平成25年度	平成26年度
老人福祉センター	3,090,720円	3,162,990円	2,974,740円
中央公民館			
勤労青少年ホーム			

## ○中央公民館（2階）

※家庭教育・子育て支援事業を除く

事業名	実施概要	参加人数等
生涯学習グループ	82 グループ	—
手描き鯉のぼり教室	1 回	41 名
手すき和紙・手描き鯉のぼり展示会	1 回	500 名
総合市民会館まつり	2 日	展示：21 グループ 発表：25 グループ 催事：17 グループ

## ○勤労青少年ホーム（3階）

事業名	実施概要	参加人数等
クラブ活動（3クラブ）	144 回	延べ 672 名
ホーム祭	1 日	350 名
利用者連絡協議会	10 回	延べ 40 名

## (2) 玖波公民館

## ○年間利用者数及び使用料収入

(延べ人数)

区 分	平成24年度	平成25年度	平成26年度
利用者数	17,030名	20,588名	20,971名
使用料収入	748,300円	753,830円	761,920円

## ○事業

※家庭教育・子育て支援事業を除く

事 業 名	実施概要	参加人数等
生涯学習グループ	20 グループ	—
学びのカフェ 「三宅由利子さんを囲んで応援しまショー」	1 回	118 名
学びのカフェ「浴衣着付レトロ体験」講座	1 回	30 名
学びのカフェ「街カフェレトロ体験」講座	1 回	300 名
学びのカフェ「イベントを楽しく企画するには？」	1 回	30 名
学びのカフェ「今話題のLEDとは？」	1 回	30 名
ボジョレーヌーボー解禁！ ワイン講座&ふれあい交流会	1 回	30 名
ディナー料理&演奏	1 回	58 名
実演！シェフの技（ロビーレストラン）パスタ	1 回	140 名
ロビーコンサート	1 回	93 名
地元プロ歌手による歌唱指導講座	1 回	40 名
地域ジン学びのカフェ「温泉の楽しみ方」	1 回	70 名
AED講座講習会	1 回	30 名
エコ講座	1 回	30 名
プロのアナウンサーを囲んでの講座	1 回	700 名
神楽講座	1 回	500 名
公民館まつり	3 日	展示：15 グループ 発表：12 グループ

## (3) 小方公民館

○年間利用者数及び使用料収入

(延べ人数)

区 分	平成24年度	平成25年度	平成26年度
利用者数	28,384名	28,435名	26,620名
使用料収入	1,120,200円	1,138,990円	1,095,810円

○事業

※ 家庭教育・子育て支援事業を除く

事 業 名	実施概要	参加人数等
生涯学習グループ	25 グループ	—
いきいき健康講座	毎月第3木曜	延べ159名
かご作り教室	毎月第2土曜	延べ103名
クラフト教室	毎月第3土曜	延べ139名
ボールペンで名前をきれいに書こう	1回	16名
もっと教えて秋野菜の作り方	1回	29名
男の料理教室	2回	延べ49名
自分の土をもっとよく知ってみよう	1回	33名
エクササイズ教室	毎週第4土曜	延べ201名
ヤクルト健康講座	6回	延べ94名
花のアレンジメント教室	1回	14名
春野菜栽培教室	1回	30名
囲碁大会	1回	32名
公民館まつり	2日	展示：9グループ 発表：11グループ

## (4) 栄公民館

○年間利用者数及び使用料収入

(延べ人数)

区 分	平成24年度	平成25年度	平成26年度
利用者数	14,919名	16,015名	14,088名
使用料収入	805,660円	724,530円	693,830円

○事業

※家庭教育・子育て支援事業を除く

事 業 名	実施概要	参加人数等
生涯学習グループ	25 グループ	—
太極拳体験講座	通年	延べ 48 名
ヤクルト健康講座 生活習慣病予防	1 回	21 名
アロマセラピー	1 回	10 名
秋野菜作り	1 回	20 名
水彩スケッチ体験	1 回	8 名
プリザーブドフラワー	1 回	31 名
スペイン語講座	4 回	延べ 38 名
春野菜栽培	1 回	20 名
大正琴体験教室	1 回	6 名
いけばな教室	1 回	3 名
公民館まつり	3 日	展示：9 グループ 発表：13 グループ

## (5) 大竹会館

## ○年間利用者数

(延べ人数)

区 分	平成24年度	平成25年度	平成26年度
大竹会館旧館	9,754名	14,957名	13,099名
アゼリアホール	26,807名	28,283名	23,108名
エスポワールおおたけ	17,934名	17,879名	20,302名
合 計	54,495名	61,119名	56,509名

## ○年間使用料収入

区 分	平成24年度	平成25年度	平成26年度
大竹会館旧館	1,804,310円	1,925,420円	1,794,280円
アゼリアホール			
エスポワールおおたけ	891,290円	1,131,150円	1,092,560円

## ○事業

※家庭教育・子育て支援事業を除く

事 業 名	実施概要	参加人数等
生涯学習グループ	26 グループ	—
リフレッシュヨガ	1回	6名
ゆかたの着付け教室	1回	7名
家庭菜園教室	1回	11名
千支つくり教室	1回	35名
和布で金魚を作ろう	1回	22名
太極拳体験教室	1回	3名
笑いヨガ	1回	7名
クリスマスアレンジメント教室	2回	41名
ダンボールコンポストによる堆肥作り	1回	6名
血流改善元気 up ヨガレッスン	1回	10名

やさしい漢詩作り教室	1回	15名
フラワーアレンジメント教室	1回	14名
ワンちゃんトータルケア&しつけアドバイス	1回	5名
会館まつり	2日	展示：9グループ 発表：16グループ

(6) 市立図書館

○個人貸出状況

(延べ人数)

区 分	年度	個 人 の 貸 出 し の 状 況		
		児 童	一 般	計
登録者数	平成 24年度	1,249名	23,285名	24,534名
	平成 25年度	1,249名	23,820名	25,069名
	平成 26年度	1,296名	24,397名	25,693名
貸出冊数	平成 24年度	50,822冊	100,261冊	151,083冊
	平成 25年度	44,273冊	92,854冊	137,127冊
	平成 26年度	45,222冊	92,695冊	137,917冊

○相互貸借状況

区 分	借 受	貸 出
平成24年度	354冊	338冊
平成25年度	306冊	389冊
平成26年度	281冊	330冊

○レファレンス(図書についての相談業務) 状況

区 分	口頭	電話	文書	合計
平成24年度	829件	24件	2件	855件
平成25年度	517件	41件	2件	560件
平成26年度	455件	20件	2件	477件



## ○蔵書数

(単位：冊)

年度	区分	総記	哲学	歴史	社会	自然	工学	産業	芸術	語学	文学	計
平成 24年度	増加 冊数	147	140	393	628	481	511	215	314	64	2,584	5,477
	蔵書 合計数	4,350	3,675	11,465	16,181	10,566	8,836	3,604	9,817	2,017	69,881	140,392
平成 25年度	増加 冊数	121	173	424	533	439	483	170	290	34	2,213	4,880
	蔵書 合計数	4,458	3,826	11,851	16,682	10,988	9,295	3,769	10,081	2,039	72,059	145,048
平成 26年度	増加 冊数	137	243	469	684	522	551	184	426	78	2,332	5,626
	蔵書 合計数	4,593	4,066	12,322	17,330	11,512	9,805	3,951	10,504	2,109	74,277	150,469

## ○ホームページアクセス・Web予約件数及びインターネット端末の利用者数(延べ人数)

区分	アクセス件数	Web予約件数	インターネット 端末利用者数
平成24年度	60,011件	1,686件	2,039名
平成25年度	176,726件	1,619件	1,601名
平成26年度	445,547件	1,597件	1,037名

## ○巡回文庫

巡回月	巡回先
6月,9月,12月,3月 年4回	玖波公民館
	小方公民館
	栄公民館
7月,11月,3月 年3回	栗谷小学校

○事業

事業名	実施概要	参加名数等
おはなし会	8回	延べ107名
おひざにだっこのおはなし会	12回	延べ239名
親子で楽しむおはなし会	12回	延べ229名
子どもと本をつなぐために	4回	延べ96名
むかしばなしワールド	1回	33名
クリスマス会	1回	63名
クリスマスのおはなし会（ストーリーテリング）	1回	26名
わらべうたであそぼう	1回	12名
人形劇・手品	1回	28名
秋のおはなし会スペシャル	1回	24名
子どもの読書週間おはなし会スペシャル	1回	46名

○ギャラリーおおたけ（展示室）

（延べ人数）

区分	展示目的利用		展示目的外使用		合計	
	回数	利用人数	回数	利用人数	回数	利用人数
平成24年度	10回	5,302名	48回	2,356名	58回	7,658名
平成25年度	9回	3,747名	36回	2,022名	45回	5,769名
平成26年度	10回	5,413名	36回	3,570名	46回	8,983名

（7）海の家あたた

（延べ人数）

区分	宿泊者	日帰り	利用者総数	使用料収入
平成24年度	603名	116名	719名	797,900円
平成25年度	660名	216名	876名	1,221,130円
平成26年度	533名	111名	644名	982,635円

（8）自然の家やさか

（延べ人数）

区分	宿泊者	日帰り	利用者総数	使用料収入
平成24年度	765名	282名	1,047名	503,040円
平成25年度	762名	158名	920名	593,445円
平成26年度	742	142名	884名	481,015円

### 3. スポーツ施設

#### (1) 総合体育館

##### ○年間利用者数

(延べ人数)

区 分	開館 日数	スポーツ	トレーニング	武 道	スポーツ 以 外	合 計
平成 24 年度	345日	34,203名	9,418名	6,737名	11,577名	61,935名
平成 25 年度	345日	34,504名	8,917名	7,265名	9,678名	60,364名
平成 26 年度	345日	45,989名	9,962名	8,914名	9,776名	74,641名

(団体利用・個人利用の内訳)

団体利用	個人利用
45,742名	16,193名
42,933名	17,431名
42,629名	32,012名

##### ○年間利用料収入

年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
使用料収入	3,428,860円	3,229,420円	4,175,620円

#### (2) 人工登はん壁

区 分	件 数	人 員	使用料収入
平成19年度から一般利用を中止しています。			

#### (3) 市民スポーツ広場

(延べ人数)

区 分	件 数	利用人数
平成 24 年度	327件	25,025名
平成 25 年度	295件	19,068名
平成 26 年度	591件	20,842名

(4) 学校プール開放事業

○年間利用者数

ア. 大竹小学校

(延べ人数)

区 分	幼 児	小学生	中学生	一 般 (高校生以上)	団体・教室	合 計
平成24年度	173名	519名	37名	499名	0名	1,228名

イ. 小方小学校

(延べ人数)

区 分	幼 児	小学生	中学生	一 般 (高校生以上)	団体・教室	合 計
平成24年度	31名	87名	4名	82名	0名	204名

※平成24年度は小方小学校プールのポンプが故障したため7月のみ開放

ウ. 小方小学校・小方中学校

(延べ人数)

区 分	幼 児	小学生	中学生	一 般 (高校生以上)	団体・教室	合 計
平成25年度	675名	1,839名	277名	1,459名	47名	4,297名
平成26年度	337名	1,367名	200名	1,029名	42名	2,975名

※平成25年度から、小方小学校・小方中学校で学校プール開放事業を実施。

(5) さかえ運動公園 (延べ人数)

区 分	グラウンド	
	件数	人 員
平成24年度	478件	8,067名
平成25年度	538件	9,998名
平成26年度	645件	12,175名

(6) 晴海臨海公園テニス場 (6面)

※平成25年度までは3面

区 分	件 数	人 員	使用料収入
平成24年度	1,439件	9,351名	738,170円
平成25年度	1,423件	9,110名	700,540円
平成26年度	2,112件	13,059名	1,052,780円

(7) 学校体育施設

○年間利用者数

ア. 大竹中学校

(延べ人数)

区分	グラウンド				体育館	
	昼間		夜間		件数	人員
	件数	人員	件数	人員		
平成 24 年度	2 件	11 名	97 件	2,015 名	546 件	8,675 名
平成 25 年度	1 件	10 名	58 件	1,095 名	534 件	7,814 名
平成 26 年度	1 件	13 名	89 件	2,373 名	474 件	6,822 名

区分	テニスコート		卓球場		武道場	
	件数	人員	件数	人員	件数	人員
平成 24 年度	102 件	1,878 名	35 件	324 名	126 件	4,290 名
平成 25 年度	97 件	1,688 名	54 件	593 名	129 件	4,530 名
平成 26 年度	102 件	1,624 名	55 件	563 名	124 件	3,720 名

イ. 小方中学校

(延べ人数)

区分	グラウンド				体育館	
	昼間		夜間		件数	人員
	件数	人員	件数	人員		
平成 24 年度					281 件	4,030 名
平成 25 年度	11 件	271 名	10 件	362 名	131 件	1,443 名
平成 25 年度	31 件	884 名	5 件	70 名	159 件	1,950 名

ウ. 玖波中学校

(延べ人数)

区分	グラウンド				体育館	
	昼間		夜間		件数	人員
	件数	人員	件数	人員		
平成 24 年度	1 件	15 名	91 件	3,015 名	148 件	2,815 名
平成 25 年度	3 件	520 名	71 件	2,160 名	127 件	2,950 名
平成 26 年度	8 件	160 名	81 件	2,130 名	104 件	2,610 名

エ. 大竹小学校

(延べ人数)

区 分	グ ラ ウ ン ド				体 育 館	
	昼 間		夜 間		件数	人 員
	件数	人 員	件数	人 員		
平成 24 年度	20 件	656 名	76 件	3,685 名	363 件	4,686 名
平成 25 年度	19 件	570 名	114 件	4,660 名	410 件	4,591 名
平成 26 年度	18 件	540 名	60 件	3,915 名	365 件	4,481 名

オ. 小方小学校

(延べ人数)

区 分	グラウンド		体 育 館	
	件数	人 員	件数	人 員
平成 24 年度			58 件	642 名
平成 25 年度	62 件	2,700 名	40 件	400 名
平成 26 年度	72 件	3,200 名	14 件	160 名

カ. 玖波小学校

(延べ人数)

区 分	体 育 館	
	件数	人 員
平成 24 年度	15 件	2,090 名
平成 25 年度	378 件	2,150 名
平成 26 年度	339 件	9,760 名

※グラウンド開放はなし。

○学校体育施設 利用料収入

	中 学 校	小 学 校	夜間照明
平成 24 年度	541,200 円	141,350 円	375,000 円
平成 25 年度	484,200 円	145,130 円	400,440 円
平成 26 年度	428,540 円	144,880 円	428,540 円

(2) 文化財審議会委員

○会議の開催

区 分	回 数	場 所	人 数
平成 24 年度	年 7 回	総合市民会館	7 名
平成 25 年度	年 5 回	総合市民会館	7 名
平成 26 年度	年 1 回	総合市民会館	6 名

○文化財審議会委員 (定数 10 名以内 任期 2 年 平成 28 年 10 月 31 日まで)

氏 名	現 職
畠 中 杓 臈	歴史研究会会長
木 村 正 臣	学識経験者
望 月 英 範	学識経験者
島 崎 陽 子	古文書会会長
本 名 和 夫	学識経験者
二階堂百合子	学識経験者
石 田 雅 春	広島大学文書館助教

#### 4. 社会教育関係委員

##### (1) 社会教育委員

###### ○会議の開催

区 分	回 数	場 所	人 数
平成 24 年度	年 1 回	総合市民会館	11 名
平成 25 年度	年 1 回	総合市民会館	11 名
平成 26 年度	年 1 回	総合市民会館	11 名

###### ○社会教育委員（定数 20 名以内 任期 2 年 平成 29 年 5 月 31 日まで）

氏 名	現 職
石井 憲幸	小学校校長会代表
久保 忠	中学校校長会代表
乙村 拓	大竹高等学校校長
冷泉 洋治	体育協会会長
三浦 洋二	文化協会副会長
泉 須美子	青少年育成市民会議副会長
三上 宏子	自治連女性部
藤野 広志	青年会議所
岡 和明	P T A 連合会会長
和田 和子	学識経験者
小田 光範	学識経験者



(3) スポーツ推進委員

○会議の開催

区 分	回 数	場 所	人 数
平成 24 年度	年 11 回	総合市民会館	20 名
平成 25 年度	年 11 回	総合市民会館	21 名
平成 26 年度	年 12 回	総合市民会館	18 名

○スポーツ推進委員（定数 23 名以内 任期 2 年 平成 28 年 3 月 31 日まで）

氏 名	地区
清 永 恵 三	大 竹
廣 中 武 志	
岡 本 晶 子	
木 下 正 紀	
正 重 恵 子	
上 村 幸 江	
正 重 賢 二	
嘉 屋 晴 美	
柴 田 喜 代 人	
西 尾 弘	栗 谷

氏 名	地区
黒 田 雅 生	小 方
中 村 和 嗣	
中 次 千 穂	
小 守 朗 弘	
藤 内 良 子	玖 波
丹 下 和 昭	
福 島 利 啓	
守 永 正 行	

5. 社会教育・社会体育施設等一覧

(平成27年3月末現在)

施設名	所在地	構造・床面積	施設概要	開館
総合市民会館	立戸1丁目 6-1	R造3階 8,626㎡	1階 老人福祉センター 2階 中央公民館 3階 勤労青少年ホーム 別棟 総合体育館(2階建)	S56.5
(1階) 老人福祉センター		(1,814)	大集会室, 小集会室, 美術工芸室, 図書室, 教養娯楽室(2), 機能回復, 訓練室, 男女浴室(廃止)	
(2階) 中央公民館		(1,356)	研修室(2), 図書室, 児童室, 視聴覚室, 料理講習室, ホール	
(3階) 勤労青少年ホーム		(822)	集会室, 会議室, 音楽室, 研修室(2), 料理講習室, 軽運動室	
(別棟) 総合体育館		(4,618)	競技場, 武道場, トレーニン グルーム, 卓球場, 研修室, 会議室, 舞台, 楽屋, 医務室	S55.4
図書館	立戸1丁目 6-1	R造 地下1階 地上2階 2,284㎡	開架室, 閉架室, 学習室, 点字録音室, 対面朗読室, 作業室, 児童コーナー, AVコーナー, 展示室, 郷土資料室	H元.4
栄公民館	西栄3丁目 14-13	R造2階 (地下倉庫) 927㎡	和室, 研修室, 調理実習室, 図書室, 大ホール	S56.4
小方公民館	小方1丁目 20-1	R造2階 2,423㎡	和室, 研修室, 調理実習室, 工作室, 図書室, 会議室, 大ホール	S57.4
玖波公民館	玖波1丁目 10-1	R造2階 (地下倉庫) 1,159㎡	和室, 研修室, 調理実習室, 図書室, 大ホール	S49.9
栗谷公民館 (農林振興センター)	栗谷町 小栗林652	R造2階 540㎡	農業経営研修室, 生活改善 実習室, 多目的研修集会室	S56.4
自然の家やさか	前飯谷4562	木造平屋建・ 一部鉄骨造2階 530㎡	宿泊室(3), 会議室, 集会室兼食堂, 厨房, 浴室等	S63.4

施設名	所在地	構造・床面積	施設概要	開館
大竹会館 (アゼリアホール)	本町一丁目 9-3	R造3階 (地下倉庫)  2,632㎡  3,031㎡	老人集会室, 結婚式場, 新郎新婦控室(各2), 中集会室, 大集会室, 料理実習室, 研修室(4), 茶室, 生花室 講堂兼体育館, 研修室(2) 楽屋(2), 舞台	S38.  H2.4
栄公園 (グラウンド) (テニスコート) ※H20年度から休止中 (バレーコート)	東栄一丁目7	6,000㎡ 1,300㎡ 1,700㎡	運動広場 テニスコート2面 バレーコート2面	S49.4
晴海臨海公園 テニスコート	晴海二丁目		人工芝テニスコート6面	H26.4
手すき和紙作業所	防鹿3364	木造平屋 176.94㎡	こうぞ蒸し釜, そぶり場, カセイソーダ灰汁抜槽, アク抜きさらし槽, カルキ さらし槽, ビーター槽, トロロ貯蔵槽, 押し場, すき舟, 乾燥機, 製品 仕上げ場, 原材料貯蔵場	H17.9
三倉岳人工 登はん壁	栗谷町 小栗林	鉄骨造	第51回国民体育大会山岳 競技用施設として建設 (高さ15.2m・幅19.5m・奥行5.0m)	H8.3 H19年度より 一般利用休止
阿多田島 集団宿泊施設 海の家あたた	阿多田446	R造2階 714.14㎡	研修室(5), 50名収容 食堂兼ミーティングルーム 厨房, 浴室等	H8.7
阿多田島 灯台資料館	阿多田449	木造・レンガ造 平屋建	灯台資料館 83.81㎡ 倉庫 38.17㎡ 油庫 12.04㎡	H8.7
大竹市民 スポーツ広場	立戸一丁目 立戸二丁目 地内	6,250㎡	多目的コート 1,500㎡ 駐車場 550㎡ 多目的広場 3,200㎡ ゲートボール場 1,000㎡	H14.6

※R造：鉄筋コンクリート造

## 6. その他資料

## 21世紀を担う人材育成事業（中学生交歓交流事業）

※ 平成2年度から実施

年 度	派 遣 先	期 間	参 加 者 数
平成6年度	ハワイ(ヒロ・ホノルル)	8月4日～8月10日	市内在住中学生24名
	大竹市	8月5日～8月9日	大竹市24名 豊見城村24名
平成7年度	沖縄県豊見城村	8月3日～8月7日	大竹市22名 豊見城村24名
平成8年度	シンガポール・マレーシア	7月26日～7月31日	市内在住中学生10名
	大竹市	8月3日～8月7日	大竹市23名 豊見城村23名
平成9年度	沖縄県豊見城村	8月1日～8月5日	大竹市21名 豊見城村23名
平成10年度	大竹市	8月3日～8月6日	大竹市19名 豊見城村19名
平成11年度	沖縄県豊見城村	8月20日～8月24日	大竹市19名 豊見城村19名
平成12年度	大竹市	8月18日～8月21日	大竹市17名 豊見城村19名
平成13年度	沖縄県豊見城村	8月17日～8月21日	大竹市16名 豊見城村19名
平成14年度	大竹市	8月16日～8月19日	大竹市17名 豊見城市20名
平成15年度	沖縄県豊見城市	8月22日～8月26日	大竹市15名 豊見城市20名
平成16年度	大竹市	8月20日～8月23日	大竹市16名 豊見城市15名
平成17年度	沖縄県豊見城市	8月12日～8月16日	大竹市16名 豊見城市15名
平成18年度	大竹市	8月17日～8月20日	大竹市16名 豊見城市8名
平成19年度	沖縄県豊見城市	8月15日～8月19日	大竹市16名 豊見城市8名
平成20年度	大竹市	8月16日～8月20日	大竹市9名 豊見城市11名
平成21年度	沖縄県豊見城市	8月13日～8月17日	大竹市9名 豊見城市11名
平成22年度	大竹市	8月5日～8月8日	大竹市6名 豊見城市10名
平成23年度	沖縄県豊見城市	8月17日～8月20日	大竹市6名 豊見城市10名
平成24年度	大竹市	8月5日～8月8日	大竹市13名 豊見城市11名
平成25年度	沖縄県豊見城市	8月12日～8月15日	大竹市12名 豊見城市11名
平成26年度	大竹市	8月5日～8月8日	大竹市10名 豊見城市10名

市民文化講演会

年 度	講 師		
平成7年度	武 田 イ ク	山 本 浩 二	中 村 慶一郎
平成8年度	桂 文 珍	宮 崎 緑	北 陣 親 方
平成9年度	水 野 肇	舛 添 要 一	三遊亭 小遊三
平成10年度	坂 上 二 郎	佐ノ山 親 方	今 井 通 子
平成11年度	大 山 のぶ代	萩 本 欽 一	服 部 幸 應
平成12年度	由 美 かおる	黒 沢 年 男	北 野 大
平成13年度	舞の海 秀 平	石 井 めぐみ	
平成14年度	橋 幸 夫		
平成15年度	絵 門 ゆう子	クロード・チアリ	清 水 章 吾
平成16年度	丸 山 和 也	田 嶋 陽 子	島 田 洋 七
平成17年度	岸 田 今日子	乙 武 洋 匡	宮 川 泰 夫
平成18年度	白 井 典 子	石 原 良 純	江 村 利 雄
平成19年度	住 田 裕 子	尾 車 浩 一	荒 木 由美子
平成20年度	古 田 敦 也		
平成21年度	朝 原 宣 治 奥 野 史 子		
平成22年度	池 上 彰		
平成23年度	東国原 英夫		
平成24年度	香 山 リ カ	勝 間 和 代	
平成25年度	茂 木 健 一 郎		
平成26年度	尾 木 直 樹		

成人式出席状況

年度	対象者数		出席者数		出席率	
平成 17 年度	男性	194 名	男性	149 名	男性	76.8%
	女性	189 名	女性	154 名	女性	81.5%
	合計	383 名	合計	303 名	合計	79.1%
平成 18 年度	男性	212 名	男性	131 名	男性	61.8%
	女性	166 名	女性	117 名	女性	70.5%
	合計	378 名	合計	248 名	合計	65.6%
平成 19 年度	男性	214 名	男性	133 名	男性	62.1%
	女性	168 名	女性	139 名	女性	82.7%
	合計	382 名	合計	272 名	合計	71.2%
平成 20 年度	男性	178 名	男性	130 名	男性	73.0%
	女性	170 名	女性	131 名	女性	77.1%
	合計	348 名	合計	261 名	合計	75.0%
平成 21 年度	男性	209 名	男性	159 名	男性	76.1%
	女性	122 名	女性	82 名	女性	67.2%
	合計	331 名	合計	241 名	合計	72.8%
平成 22 年度	男性	192 名	男性	121 名	男性	63.0%
	女性	165 名	女性	115 名	女性	69.7%
	合計	357 名	合計	236 名	合計	66.1%
平成 23 年度	男性	166 名	男性	115 名	男性	69.3%
	女性	144 名	女性	101 名	女性	70.1%
	合計	310 名	合計	216 名	合計	69.7%
平成 24 年度	男性	202 名	男性	121 名	男性	59.9%
	女性	142 名	女性	92 名	女性	64.8%
	合計	344 名	合計	213 名	合計	61.9%
平成 25 年度	男性	164 名	男性	104 名	男性	63.4%
	女性	143 名	女性	104 名	女性	72.7%
	合計	307 名	合計	208 名	合計	67.8%
平成 26 年度	男性	173 名	男性	111 名	男性	64.2%
	女性	148 名	女性	103 名	女性	69.6%
	合計	321 名	合計	214 名	合計	66.7%

# 大竹駅伝競走大会優勝チーム一覧表

は3年連続優勝

回数(昭和)	一般の部		高校男子の部		中学男子の部		中学女子の部		高校女子の部		出発地点(折り返し)
	チーム名	時間	チーム名	時間	チーム名	時間	チーム名	時間	チーム名	時間	
第1回(昭和27年)	大野体協										広島駅
第2回(昭和28年)	大野体協										
第3回(昭和29年)	大野体協										
第4回(昭和30年)	大野体協	2:17:33	崇徳高校	2:13:40							
第5回(昭和31年)	広島南局(東雲青)	2:19:29	大竹高校	2:18:32							
第6回(昭和32年)	大野体協	2:17:28	広島工業高校A	2:10:53							
第7回(昭和33年)	大野体協	2:20:47	広島工業高校A	2:14:26							
第8回(昭和34年)	大野体協	2:18:19	広島工業高校A	2:14:58	大竹中学校	2:18:30					
第9回(昭和35年)	大竹町陸協	2:17:56	西条農業高校	2:11:12	大竹中学校	2:18:17					
第10回(昭和36年)	矢野体協	1:57:00	"	1:54:15	大竹中学校	1:57:46					
第11回(昭和37年)	大野体協	1:56:11	広島電機高校	1:51:33	大竹中学校	1:33:25					
第12回(昭和38年)	大竹市陸協A	1:55:20	西条農業高校	1:49:22	海田中学校	1:30:33					
第13回(昭和39年)	五日市体協	1:56:22	広島電機高校C	1:51:09	大竹中学校	1:32:27					
第14回(昭和40年)	大竹市陸協A	1:51:56	" A	1:44:36	府中中学校	1:29:54					
第15回(昭和41年)	大竹市体協A	1:46:01	" B	1:44:07	大竹中学校	1:29:57					
第16回(昭和42年)	五日市体協	1:46:22	" A	1:45:18	府中中学校	1:15:01					
第17回(昭和43年)	大野体協	1:38:53	広島工業高校	1:38:57	大竹中学校	1:23:24					
第18回(昭和44年)	大野体協	1:38:25	広島電機高校	1:36:15	大竹中学校	1:24:33					
第19回(昭和45年)	和木体協B	1:38:11	広島大付属高校A	1:35:45	大竹中学校	1:25:33					
第20回(昭和46年)	和木体協	1:23:06	広島大付属高校A	1:22:47	大竹中学校	1:25:40					
第21回(昭和47年)	和木体協A	1:23:53	広島工業高校A	1:24:20	大野中学校	1:25:17					
第22回(昭和48年)	和木体協A	1:23:24	山陽高校A	1:23:55	栗谷中学校A	1:23:56					
第23回(昭和49年)	和木体協A	1:22:52	西条農業高校A	1:23:21	大野中学校	1:24:13					
第24回(昭和50年)	和木体協A	1:23:41	広島大付属高校A	1:22:47	大野中学校	1:25:33					
第25回(昭和51年)	和木体協A	1:24:47	西条農業高校A	1:22:05	大野中学校	1:26:32					

# 大竹駅伝競走大会優勝チーム一覧表

は3年連続優勝

大会年次	一般の部		高校男子の部		中学男子の部		中学女子の部		高校女子の部		出発地点(折り返し)
	チーム名	時間	チーム名	時間	チーム名	時間	チーム名	時間	チーム名	時間	
第26回(昭和52年)	庄原市体協A	1:24:02	西条農業高校A	1:20:54	七尾中学校A	1:24:54					
第27回(昭和53年)	庄原市体協	1:23:51	西条農業高校A	1:23:33	五日市中学校A	1:25:43					
第28回(昭和54年)	大竹市体協A	1:20:51	西条農業高校A	1:21:58	五日市中学校A	1:22:21					
第29回(昭和55年)	大竹市体協A	1:20:19	西条農業高校A	1:20:19	五日市中学校A	1:23:27					
第30回(昭和56年)	大竹市体協A	1:22:29	西条農業高校A	1:20:00	七尾中学校A	1:22:29					
第31回(昭和57年)	大竹市体協A	1:22:16	西条農業高校A	1:20:32	七尾中学校A	1:22:14					
第32回(昭和58年)	大竹市体協A	1:15:40	西条農業高校A	1:16:21	三和中学校A	1:10:31					
第33回(昭和59年)	東広島市体協A	1:16:44	西条農業高校A	1:14:47	三和中学校A	1:11:18					
第34回(昭和60年)	大竹市体協A	1:15:26	西条農業高校A	1:14:36	七尾中学校A	1:09:23					
第35回(昭和61年)	大竹市体協A	1:29:18	西条農業高校A	1:29:27	大野中学校	1:22:32					
第36回(昭和62年)	東広島市体協A	1:25:44	西条農業高校A	1:27:18	阿品中学校	1:21:44	佐伯中学校	1:16:39			
第37回(昭和63年)	東広島市体協	1:24:47	西条農業高校A	1:27:01	阿品中学校	1:21:42	佐伯中学校	1:15:50			
第38回(平成元年)											
第39回(平成2年)	東広島市体協	1:25:25	西条農業高校A	1:27:12	佐伯中学校	1:22:32	佐伯中学校	1:14:07	廿日市西高校	1:29:51	
第40回(平成3年)	東広島市体協	1:27:50	西条農業高校A	1:26:43	野坂中学校	1:22:34	佐伯中学校	1:17:10	鈴峯女子高校	1:26:16	
第41回(平成4年)	東広島市体協	1:27:09	熊野高校	1:25:20	大竹中学校	1:24:02	能美中学校	55:42	鈴峯女子高校	1:09:49	
第42回(平成5年)	東広島市体協	1:25:39	西条農業高校	1:26:16	佐伯中学校	1:21:35	佐伯中学校	55:16	鈴峯女子高校	1:10:25	
第43回(平成6年)	東広島市体協	1:24:44	西条農業高校	1:26:15	小方中学校	1:22:00	佐伯中学校	57:42	鈴峯女子高校	1:10:41	
第44回(平成7年)	東広島市体協	1:26:54	熊野高校	1:26:07	野坂中学校	1:24:12	佐伯中学校	59:17	皆実高校	1:11:25	
第45回(平成8年)	東広島市体協	1:27:37	熊野高校	1:25:25	大竹中学校	1:24:59	佐伯中学校	58:45	皆実高校	1:09:42	
第46回(平成9年)	広島市陸協	2:11:44	熊野高校	1:15:45	大竹中学校	1:11:47	大竹中学校	1:03:24	皆実高校	1:12:59	
第47回(平成10年)	広島市陸協	2:10:32	熊野高校	1:16:09	小方中学校	1:14:08	大竹中学校	1:01:07	西条農業高校	1:13:58	
第48回(平成11年)	呉市体協	2:16:44	熊野高校	1:15:39	小方中学校	1:12:56	野坂中学校	57:49	鈴峯女子高校	1:12:38	
第49回(平成12年)	呉市体協	2:12:01	熊野高校	1:15:55	小方中学校	1:11:19	野坂中学校	58:50	市立広島商業高校	1:11:55	
第50回(平成13年)	大竹市体協A	2:16:39	熊野高校	1:16:02	小方中学校	1:11:15	能美中学校	1:01:58	市立広島商業高校	1:15:26	

中 止

総合市民会館前  
一般・高校男子  
中学男子  
高校女子  
中学女子  
八丁折り返し  
安条折り返し  
新幹線折り返し  
自動車道折り返し

総合市民会館前  
一般  
下松ヶ原バス停・安条折返し  
高校男子・大迫ポンプ場・早瀬ヶ池折返し  
中学男子・高校女子  
大迫・栗師寺折返し  
中学女子・恵川大橋・栗師寺折返し



# 大竹駅伝競走大会優勝チーム一覧表

は3年連続優勝

回数(平成何年)	一般の部		高校男子の部		中学男子の部		中学女子の部		高校女子の部		出発地点(折り返し)
	チーム名	時間	チーム名	時間	チーム名	時間	チーム名	時間	チーム名	時間	
第51回(平成14年)	大竹市体協A	1:18:34	熊野高校	1:16:39	小方中学校	1:10:09	佐伯中学校	1:03:39	西条農業高校	1:00:41	総合市民会館 一 般 恵川大橋・日本大昭和板野湯水場折返し 高校男子 恵川大橋・日本大昭和板野湯水場折返し 高校女子 高松女子 恵川大橋・美峰寺折返し 中学男子 恵川大橋・早瀬川追分折返し 中学女子 恵川大橋・光明寺折返し
第52回(平成15年)	広島疾風クラブA	1:18:16	熊野高校	1:16:12	砂谷中学校	1:14:18	砂谷中学校	1:01:47	西条農業高校	1:00:46	
第53回(平成16年)	広島修道大学A	1:13:25	熊野高校	1:09:49	小方中学校	1:11:15	佐伯中学校	55:47	広島皆実高校	55:23	
第54回(平成17年)	広島修道大学A	1:12:41	西条農業高校	1:10:06	佐伯中学校	1:10:20	佐伯中学校	55:04	西条農業高校	57:57	
第55回(平成18年)	広島修道大学A	1:14:04	沼田高校	1:10:21	佐伯中学校	1:10:41	佐伯中学校	54:08	西条農業高校	55:31	
第56回(平成19年)	広島修道大学A	1:12:16	西条農業高校	1:11:37	大野東中学校	1:12:55	甘日市中学校	54:37	広島皆実高校	56:10	
第57回(平成20年)	大竹市陸協A	1:12:26	西条農業高校	1:13:41	佐伯中学校	1:11:00	甘日市中学校	54:24	錦峯女子高校	53:43	
第58回(平成21年)	大竹市陸協A	1:12:42	西条農業高校	1:13:06	大野東中学校	1:09:45	大野東中学校	52:55	錦峯女子高校	54:06	
第59回(平成22年)	大竹市陸協A	1:12:39	西条農業高校	1:13:06	佐伯中学校	1:09:34	大野東中学校	50:41	錦峯女子高校	52:41	
第60回(平成23年)	チームA K B	1:11:51	広島国際学院高校	1:12:40	佐伯中学校	1:10:39	大野東中学校	51:22	皆実高校	56:52	
第61回(平成24年)	広島修道大学A	1:12:49	広島国際学院高校A	1:11:05	大野東中学校	1:07:57	大野東中学校	52:02	西条農業高校	57:12	
第62回(平成25年)	広島修道大学	1:12:14	広島国際学院高校A	1:11:47	大野東中学校	1:08:48	佐伯中学校	50:44	西条農業高校	56:39	
第63回(平成26年)	広島経済大学	1:13:02	広島国際学院高校A	1:12:37	大野東中学校	1:08:35	大野東中学校	51:55	高陽東高校	54:43	
第64回(平成27年)	広島経済大学	1:10:46	広島皆実高校A	1:11:22	七尾中学校	1:09:54	大野東中学校	51:34	沼田高校	56:49	

1. The first part of the document discusses the importance of maintaining accurate records of all transactions and activities. It emphasizes that proper record-keeping is essential for transparency and accountability, particularly in the context of public administration and financial management. The text notes that without reliable records, it becomes difficult to track expenditures, assess performance, and ensure that resources are used efficiently and effectively.

2. The second part of the document addresses the challenges associated with data collection and analysis. It highlights that gathering accurate and timely data can be a complex task, often requiring significant resources and expertise. The text suggests that organizations should invest in robust data management systems and training to overcome these challenges. Additionally, it stresses the importance of data quality and the need for regular audits to ensure the integrity of the information being used for decision-making.

3. The third part of the document focuses on the role of technology in improving operational efficiency. It discusses how digital tools and automation can streamline processes, reduce errors, and enhance communication. The text encourages organizations to embrace innovation and explore new technologies that can provide a competitive edge. However, it also cautions against over-reliance on technology and emphasizes the need for a balanced approach that combines human expertise with digital capabilities.

4. The fourth part of the document discusses the importance of stakeholder engagement and communication. It notes that successful organizations are those that actively listen to their customers, employees, and other stakeholders. The text suggests that organizations should establish clear channels of communication and involve stakeholders in the decision-making process. This approach not only helps to build trust and loyalty but also ensures that the organization's actions are aligned with the needs and expectations of its various stakeholders.

5. The fifth part of the document addresses the issue of risk management. It emphasizes that organizations should proactively identify and assess potential risks to their operations and financial stability. The text suggests that a comprehensive risk management framework should be in place, one that includes regular risk assessments, clear risk tolerance levels, and effective mitigation strategies. By taking a proactive approach to risk management, organizations can minimize the impact of unforeseen events and ensure their long-term sustainability.

6. The sixth part of the document discusses the importance of continuous improvement and innovation. It notes that organizations should not be satisfied with the status quo and should always be looking for ways to optimize their processes and services. The text suggests that organizations should foster a culture of innovation and encourage employees to share their ideas and suggestions. Regular reviews and feedback loops are also essential for identifying areas for improvement and implementing changes that drive growth and progress.

7. The seventh part of the document addresses the issue of ethical considerations. It emphasizes that organizations should always act with integrity and transparency, and should be guided by a strong code of ethics. The text suggests that organizations should establish clear ethical guidelines and ensure that all employees are aware of and committed to these principles. By prioritizing ethical behavior, organizations can build a reputation for trust and credibility, which is essential for long-term success.

8. The eighth part of the document discusses the importance of financial management and budgeting. It notes that organizations should have a clear understanding of their financial position and should develop a realistic budget that reflects their strategic goals. The text suggests that organizations should monitor their financial performance closely and make adjustments as needed to stay on track. Effective financial management is crucial for ensuring that the organization has the resources it needs to achieve its objectives.

9. The ninth part of the document addresses the issue of human resources management. It emphasizes that organizations should invest in their employees and provide them with the training and development opportunities they need to succeed. The text suggests that organizations should focus on attracting and retaining top talent, and should create a supportive work environment that encourages collaboration and innovation. Effective human resources management is essential for building a strong and resilient organization.

10. The tenth part of the document discusses the importance of environmental and social responsibility. It notes that organizations have a responsibility to their communities and the environment, and should strive to minimize their negative impact. The text suggests that organizations should adopt sustainable practices and engage in social responsibility initiatives that benefit society. By demonstrating a commitment to environmental and social responsibility, organizations can enhance their reputation and contribute to a more sustainable future.

# 教育要覧

平成 27 年度版

発行 平成 27 年 9 月

編集 大竹市教育委員会

（大竹市小方一丁目 11 番 1 号）

電話 0827-59-2184

